

平成29年7月24日

安曇野市教育委員会

平成29年7月定例会

会 議 議 案

安曇野市教育委員会

議案第2号	教育部 各課
平成29年7月24日提出	

タイトル	共催・後援依頼について
決定を要する事項の内容	教育委員会の共催・後援依頼についての協議
要旨	学校教育課 後援 1件 生涯学習課 後援 2件 文化課 後援 5件 (詳細 別紙)
<p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】 (定義)</p> <p>第2条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第3条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第4条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第1項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事(団体又は行事が、前条第2項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。)</p>	

学校教育課 共催・後援台帳(平成29年度7月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者 (団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H26	H27	H28	H29	所管課 意見
1	H29.6.30	学校教育課	外国籍生徒等進学ガイダンス2017(中信会場)	公益財団法人 長野県国際化 協会 理事長	マキナリ 浩子	公益財団法人 長野県国際化 協会(各地区 進学ガイダンス 実行委員会)	地域の外国籍 原籍生徒等の 進学進路に寄 与できる事業	6月29日	平成29年9 月2日(土) 13:00~16: 00				月 日	未定 (安曇野市 内)	外国籍原籍生徒等のた めの進学や進路につい ての必要な情報提供を こなうために、県下4会場 で進学ガイダンスを実施 する。	日本語を母語としない子ど もと親のための高校進学ガ イダンス、進路についてや 先輩の体験談等の全体説 明、個別説明や相談対応。 各会場参加者40名程度を 予定。					基準第3 条第2項 により可

教育部生涯学習課共催・後援台帳(平成29年度7月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	承認	承認日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H26	H27	H28	所管課 意見
1009	H29.7.3	スポーツ推進担当	第15回全国スポーツ少年団バレーボール大会長野県大会	公益財団法人長野県体育協会長野県スポーツ少年団 本部長 柴満喜夫	公益財団法人長野県体育協会長野県スポーツ少年団	後援	青少年の健全育成及びスポーツの振興普及のため。	6月30日	平成29年10月9日(月・祝)		月 日	男子:三郷文化公園体育館 女子:松川村立松川小学校体育館	バレーボールを通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的とする。	男子10チーム、女子18チームが参加予定。 競技方法:トーナメント方式、各試合3セットマッチ 参加料:1チーム3,000円 男子優勝チーム及び開催地(土)から長野県佐久郡町で開催される第37回北信越プロフェッショナル交流大会第15回全国スポーツ少年団バレーボール大会北信越大会の参加資格を満たす場合、出場チームは、平成30年3月25日(土)から群馬県前橋市で開催される第15回全国スポーツ少年団バレーボール大会に推薦する。	-	-	-	基準第3条第2項により可
1010	H29.7.10	社会教育担当	自殺予防いのちの電話講演会	社会福祉法人長野いのちの電話 理事長 山田祐司	社会福祉法人長野いのちの電話 のちの電話	後援	自殺予防は特殊な問題でなく、地域に生きる人々の教育福祉の問題です。自治体はじめ地域諸団体の各々のつながりから参加してもらいたいため。	6月28日	平成29年10月1日		月 日	高交流学習センター「みらい」多目的交流ホール	いのちの大切さを訴えます	演題:「ドラマティック人生～死の淵を何度も垣間見て～」 講師:アンネット・恵・ストウエルナート 内容:「母の言葉」と「歌」を命綱に、あらゆる苦難を乗り越え、異国の地で見事花を咲かせた講師の半生を語る。「呼吸すること」…世界で活躍する歌手が実践する「呼吸法」の体験や、カラヤンをはじめとする一流指導者が認めた「魂の歌」の鑑賞を通じて、「生きること」その本質に迫る。	-	-	-	基準第3条第2項により可

教育部文化課 共催・後援台帳(平成29年度7月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	承認	承認日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H26	H27	H28	所管課 意見	
511	H29.7.3	文化	世界かんがい施設遺産登録記念治が堰ウォーク	一般社団法人安曇野市観光協会 会長 丸山庄一	一般社団法人安曇野市観光協会	後援	より多くの参加者を募り、松本市世界かんがい施設遺産登録を盛り込むため	7月3日	平成29年 10月9日 (月)・10月21日(日)			(10/9)島内駅～豊科郷土博物館(10/21)南豊科駅～穂高駅	2016年に開創200周年を迎えた松本市は、世界遺産の登録を記念し、全長18kmの治が堰を2日間にわけて歩きます。ポイントガイドの配布あり。	2016年に開創200周年を迎えた松本市は、世界遺産の登録を記念し、全長18kmの治が堰を2日間にわけて歩きます。ポイントガイドの配布あり。				基準第3条第2項により可	
647	H29.7.3	文化	山の日本マスター展2017	公益社団法人二ホンダングラフワックデザイナー協会 久志 謙	公益社団法人二ホンダングラフワックデザイナー協会 久志 謙	後援	広く一般に周知するため	6月30日	平成29年 8月5日 (土)～8月20日(日) 他			北アルプス展望美術館他県内数カ所	山の日(8/11)に合わせて、山岳観光地である長野県から、山の景観を堪能し、楽しむため、長野県内数カ所で行なわれる。	約20名の作品約40点を展示する。2017年はJRが実施する「信州デザインエッセイ」キャンペーンもあり、山への関心も高まることを見込まれ、これを機にデザインへの理解、価値向上につなげる。				基準第3条第2項により可	
648	H29.7.3	文化	第3回 みんなで楽しむ動物コンサート	有限会社ブラネット・ワイ 取締役社長 酒井柚香	有限会社ブラネット・ワイ	後援	より多くの子供たちに音楽の魅力を伝えるため。	6月30日	平成29年 10月8日 (日)			軽井沢大沢ホール	動物園の動物たち、平成27年軽井沢動物園でコンサートを開催し、今年で3年目を迎えます。長野県下の他、大阪府や京都府、関東などコンサートを開催しております。	出演: 雨宮知子(朗読:うた)、堀家律子(ピアノ)、長谷川裕人(エレクトーン)、野口紗矢香(サクソフォン)、園伊吹啓をうたう会、前田田コープス、彩の子幼稚園の子供たち、プロウラム「ぞうさん」おさるがねおさるがね、園伊吹啓が作曲した動物に關連した童謡を歌う。お客様参加型で毎年恒例のコンサートにしていくよう計画に後援依頼。参加費無料。				基準第3条第2項により可	
654	H29.7.4	文化	泉心舎書道研究会展覧会	日本書道美術館・安曇野支部 泉心舎書道研究会 内田豊泉(副作)	日本書道美術館・安曇野支部 泉心舎書道研究会	後援	広く一般に周知するため	7月4日	平成29年 9月28日 (木)～10月1日(日)			松本市梓川アカデミア館	昭和48年に創設された「日本書道美術館」の支部として安曇野市で活動している。この年度展を通じて地域の皆さんに書道の魅力、泉心舎の書道研究会の活動を知ってもらいたい。	泉心舎書道研究会、各書道クラブの会員が出品した作品を展示。				基準第3条第2項により可	
710	H29.7.12	文化	金剛山歌劇団中南信地区公演	金剛山歌劇団中南信地区公演実行委員会 河 舜吳	金剛山歌劇団中南信地区公演実行委員会	後援	広範な日本の皆様に参加していただくため。	7月5日	平成29年 10月28日 (土)			キッセイ文化ホール	朝・日親善をより深めるため。	朝・日親善をより深めるため。					昨今の国際情勢を鑑み、不承認

報告第 1 号	教育部 学校教育課
平成 29 年 7 月 24 日 提出	(課長) 鎌崎 孝善 (担当係長) 平林 洋一

タイトル	安曇野市教育委員会所管の事務事業に係る点検・評価等について
報告を要する事項の内容	点検・評価調書及び自己評価の承認及び知見を活用する点検・評価者の委嘱
要旨	点検・評価に使用する調書の内容及び自己評価並びに点検・評価にあたり知見を活用する者を以下のとおり委嘱したので報告するとともに、教育部各課の事務事業評価について報告するものです。
説明	<p>1 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条第 1 項の規定により、すべての教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、これを公表することとされています。</p> <p>同法第 26 条第 2 項に規定する学識経験を有する者について、以下の 3 名の方を委嘱したので、報告します。</p> <p style="margin-left: 40px;">○安曇野市社会教育委員 細田 利章 ○ 同 平田 米子 ○前豊科南小学校長 筒井 年恵</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄） （教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）</p> <p>第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。</p> <p>2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。</p> </div> <p>2 教育部各課の事務事業評価調書について 別冊のとおり</p>

平成 28 年度 安曇野市教育委員会事務事業点検・評価項目一覧

安曇野市総合計画後期基本計画との関係	頁	評価対象事務事業	所管課	自己評価	
				H28	H27
第3章 人と文化を育むまちの形成	1	いじめ・不登校対策事業	学校教育課	B	B
第1節 郷土を担う人を育むまち 1 学校教育の充実 ①時代を担う人づくりの推進 ②特色ある学校教育の推進 ③学校施設の整備 ④相談支援体制の充実	3	中間教室運営事業	学校教育課	B	B
	5	教育相談事業	学校教育課	B	B
	7	就学相談事業	学校教育課	C	C
	8	教育指導員・教育相談員の配置	学校教育課	A	A
	10	学校加配職員及び不登校支援コーディネーター等の配置・派遣事業	学校教育課	A	A
	12	学校 ICT 事業の推進	学校教育課	B	B
	14	英語教育の推進	学校教育課	C	B
	16	スクールサポート事業	学校教育課	B	B
	18	中学生議会事業	学校教育課	B	新規
	19	指導主事「授業支援」事業	学校教育課	B	新規
	20	入学準備金貸付制度	学校教育課	C	新規
	21	学校安全対策事業	学校教育課	B	B
	23	小・中学校施設改修事業	学校教育課	B	A
	25	給食事業	学校教育課	B	B
2 青少年の健全育成	27	青少年健全育成事業	生涯学習課	C	C
第3章 人と文化を育むまちの形成 第2節 生涯を通じて学び合うまち 1 生涯学習の推進 ①生涯学習体制の構築 ②生涯学習機会の充実 ③生涯学習施設の整備	29	成人式	生涯学習課	B	B
	31	安曇野市 1/2 成人式	生涯学習課	A	A
	33	安曇野検定	生涯学習課	C	C
	35	社会教育講座事業	生涯学習課	C	C
	37	社会教育団体への補助	生涯学習課	C	C
	39	放課後・家庭教育推進事業	生涯学習課	C	C
	41	児童館運営・整備事業	生涯学習課	C	C
	42	中央公民館事業	生涯学習課	B	B
	44	交流学習センター運営	図書館交流課	B	B
	46	図書館活動推進事業	図書館交流課	B	B
第6章 協働によるまちづくりの推進 第1節 協働で築かれるまち 4 人権の尊重 ①人権教育・啓発の推進 ②人権擁護団体の育成支援	49	人権教育推進事業	生涯学習課	B	B

安曇野市総合計画後期基本計画との関係	頁	評価対象事務事業	所管課	自己評価	
				H28	H27
2 スポーツ活動の推進 ①生涯スポーツの推進 ②スポーツ施設の整備と有効活用 ③競技スポーツの振興と指導者の育成 ④高齢者・生涯スポーツの推進 ⑤スポーツを通じたコミュニティづくり	51	体育団体補助	生涯学習課	C	C
	53	市民スポーツ祭	生涯学習課	C	C
	55	公式スポーツ施設整備計画策定	生涯学習課	C	C
	57	新総合体育館建設事業	生涯学習課	C	C
	58	スポーツ振興事業（社会体育講座事業）	生涯学習課	B	C
第3章 人と文化を育むまちの形成 第3節 文化を学び育むまち 1 芸術文化活動の振興 ①地域文化の振興 ②芸術文化施策の充実 ③芸術文化活動の推進 ④歴史民俗資料の保存・活用	60	文化芸術振興事業	文化課	B	B
	61	諸団体との協働事業	文化課	B	B
	64	財政支援団体への補助	文化課	B	B
	66	博物館・美術館等の管理運営	文化課	B	B

(様式)

事務事業	No.1	事務事業名： いじめ・不登校対策事業	H28 年度決算額	7 千円
事業の目的	いじめ・不登校の克服に向けて、学校・地域・関係機関が連携を図り、いじめ等の防止及び早期発見・早期対応を行う。			
事業内容	いじめ不登校問題対策連絡協議会を設置し、児童、生徒のいじめ・不登校等の調査及び指導方法や発生防止の研究を行う。			
達成状況	<p>1 協議会委員構成(任期2年 当初は平成29年3月31日まで) 教育長 1名 福祉関係者 2名 警察関係者 1名 PTA関係者 1名 教育関係者 6名 行政関係者 2名 学識経験者 1名 計14名</p> <p>2 会議 ・安曇野市いじめ不登校問題対策連絡協議会(いじめ防止対策推進法制定により、前いじめ等対策委員会を発展的解消し設置) 開催：2回</p> <p>3 協議事項 ・学校及び地域におけるいじめ等の状況に関すること ・学校、地域、関係機関等によるいじめ等の防止の取り組みに関すること ・上記の他、いじめ等の防止に関すること</p> <p>4 成果 ・関係機関における対応及び児童生徒や保護者に関わる情報共有をすることができた。</p>			
事業の課題及び方向性	・いじめ・不登校の問題は全国的な課題であり、今日の学校教育について極めて重要です。これらの対応や解決には、学校だけの対応では困難であり、各機関の連携が必要不可欠です。そのためにも各機関の代表が集まり情報の共有、意見交換を行うことは極めて重要です。組織を設置して2年目でもあるので現状の組織及び内容を継続していきます。			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
<p>・ P T A は、いじめ・不登校問題に関し、特に重要な組織である。当協議会はじめ、学校等で行われるいじめ、不登校対策に関する情報を末端の P T A 関係者に一層浸透させることにより、いじめ等の早期発見・早期対処につなげることができる。市又は各学校が行ういじめ・不登校に関する研修会、講演会などに、できるだけ多くの関係者の参加を促すことに努める必要がある。</p>	<p>・ 市又は学校が行う研修会や講演会については、各校にも周知し参加者を呼びかけたり、情報共有したりしています。</p> <p>また、各校では P T A と協力して研修会を開催したり、人権教育にかかわる授業参観や学級懇談会を通して啓発を図ったりしています。</p>	<p>・ 市又は学校が行う研修会や講演会については、引き続き周知・共有していきます。市校長会でも P T A 等関係者への一層の周知を呼びかけます。</p>
<p>・ いじめは、学校や家庭だけの問題ではなく、すべての大人たちの問題として取り組む必要がある。例えば、集会所単位でいじめ、不登校に関する問題を取り上げることで、保護者や地域の方が連携して近所の子どもを見守る体制の構築などを進める必要がある。</p>	<p>・ 小中学校の教員、保護者、地域の方参加の地区懇談会を毎年夏休み前に開催して話し合いの機会を持っています。</p>	<p>・ 地区懇談会を継続していきます。</p>
<p>・ いじめ、不登校問題が低年齢化している中、これらを早期発見するためには、教師が子ども一人一人の様子を注意深く観察する必要があり、そのためにもある程度教師にゆとりが必要であり、教師の多忙解消の取り組みも必要となる。</p>	<p>・ 超過勤務時間の縮減については、県、市が校長会と一体となって、状況を把握し、改善に向けて取り組んでいます。</p>	<p>・ 市校長会を通して取り組みを進める中で、各校の実態に応じて改善策を実施していきます。</p>
<p>・ 子どもを認め、自己肯定感を育むことで不登校等を減らしていくような家庭・学校教育のあり方について研究が必要と考える。</p>	<p>・ 子ども、保護者、教職員対象に、自己肯定感を育む大切さを学ぶ研修会やワークショップを各校で開催しています。</p>	<p>・ 取り組みを継続する中で、研修のよさを周知し、各校に広めていきます。</p>

(様式)

事務事業	No.2	事務事業名： 適応指導教室運営事業	H28 年度決算額	3,816 千円																																																
事業の目的	不登校の児童生徒を対象に、学校復帰に向けての指導及び援助を行なう																																																			
事業内容	安曇野市教育支援センター設置条例に基づき、教育支援センター内に適応指導教室を開設し、不登校児童生徒の学校復帰に向けた適応指導・学習支援等を行なう。(職員体制:適応指導員2名、臨時指導員2名)																																																			
達成状況	<p>適応指導教室の在籍状況</p> <p>5カ年の在籍児童生徒数の推移(単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>28</td> <td>36</td> <td>18</td> <td>23</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>年度計</td> <td>31</td> <td>42</td> <td>24</td> <td>34</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度、在籍が最も多かった学年は中学2年生10名、次いで中学3年生9名。中学3年生で平成28年度中に学校へ復帰できた生徒は7名。 適応指導教室で精神的にも学力面でも力をつけ、自己に自信を持つことができたと評価できる。 適応指導教室は、不登校および不適応傾向の児童生徒の一時的な適応機関としての機能が学校及び保護者に認められ、不登校等児童生徒への指導の選択肢として定着しつつある。 <p>*参考 安曇野市の5カ年の欠席30日以上の不登校児童生徒の推移 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>26</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>23</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>101</td> <td>97</td> <td>84</td> <td>93</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>127</td> <td>126</td> <td>117</td> <td>116</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>不登校数は減少傾向にありますが、在籍率はほぼ横ばいの状況(長野県の傾向と同様)。</p>				年度	H24	H25	H26	H27	H28	小学生	3	6	6	11	14	中学生	28	36	18	23	19	年度計	31	42	24	34	33	年度	H24	H25	H26	H27	H28	小学校	26	29	33	23	28	中学校	101	97	84	93	72	計	127	126	117	116	100
年度	H24	H25	H26	H27	H28																																															
小学生	3	6	6	11	14																																															
中学生	28	36	18	23	19																																															
年度計	31	42	24	34	33																																															
年度	H24	H25	H26	H27	H28																																															
小学校	26	29	33	23	28																																															
中学校	101	97	84	93	72																																															
計	127	126	117	116	100																																															
事業の課題及び方向性	スクールソーシャルワーカー・不登校支援コーディネーターとの情報共有を図り、課題となっている在籍校との連携を強化していきます。																																																			
自己評価	B																																																			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
<p>・中間教室、教育相談室の設置やスクールソーシャルワーカー、不登校支援コーディネーターの配置など、不登校児童・生徒を支援する環境が整えられているが、いじめ・不登校が発生したクラスにおいては、その原因等についてクラス全体で考え、子どもたちの意識を変えるような取り組みが必要と考える。</p>	<p>・クラスにおいてその原因や改善点について考える中で、スクールソーシャルワーカー、不登校支援コーディネーター等が専門性に基づいた適切なアドバイスを行っています。</p>	<p>・クラスにおいてその原因や改善点について考えるとともに、学年・学校体制でクラスを支える組織的な取り組みを進めます。</p>
<p>・中間教室へ通う児童生徒が増加傾向にあるが、学校関係者などのきめ細かい指導により、自宅から校外の中間教室に通えるまでになった児童・生徒もいるので、一概に数値を見ただけでは評価ができない。今後も、関係機関との横の連携を密にするとともに、学校においては、子どもが無断欠席した場合は1日目から対応することが必要である。</p>	<p>・市独自の「不登校対応プログラム」を作成し、その中で不登校の予防・早期対応について具体的な動きを例示しているもので、年度当初に各校に配布しました。</p>	<p>・「不登校対応プログラム」を引き続き作成し、校長会や不登校支援コーディネーター連絡会などで配布・周知を継続します。</p>
<p>・幼児段階の発達状況に関する情報や、実際に不登校の子どもを育てた経験のある方から情報を収集し、今後の対策に生かしていくことも必要と考える。</p>	<p>・一部の学校では、親の会を組織して親同士の交流や情報交換の場を設けています。また、スクールソーシャルワーカーや不登校支援コーディネーターが、校内の親の会とは別組織の親の会にアドバイザーとして月1回程度出席しました。</p>	<p>・スクールソーシャルワーカーや不登校支援コーディネーターによる親の会への出席については、継続していきます</p> <p>・幼児段階の発達状況に関する情報収集については、保健センターや福祉課子ども発達支援相談室等と連携して進めていきます。</p>

(様式)

<p>事務事業</p>	<p>No.3</p>	<p>事務事業名： 教育相談事業</p>	<p>H28 年度決算額</p>	<p>1,251 千円</p>																								
<p>事業の目的</p>	<p>学校生活等で困難を抱えている子ども達や保護者、学校関係者を支えるため</p>																											
<p>事業内容</p>	<p>不登校、引きこもり、発達障がい、学校生活、進路、子育て全般、しつけ等についての教育相談活動（電話相談及び面接相談）を実施。 （職員体制：教育相談員 常勤1名、非常勤3名）</p>																											
<p>達成状況</p>	<p>教育相談事業の重点と状況</p> <p>目的達成に向け、「安曇野市における教育相談体制の整備と強化を図るとともに、<u>地域における関係機関、関係団体との連携、共同体制を構築していく</u>」を重点とし、<u>時代のニーズに応じた教育相談室運営</u>を目指してきた。</p> <p><連携してきた関係機関、団体></p> <p>小中学校・特別支援教育コーディネーター連絡会・家庭児童相談室・子ども発達支援相談室・特別支援学校教育相談員・適応指導教室・就学相談調査員・障がい者総合支援センターあるぷ・その他</p> <p>※教育相談室の支援だけでは効果が期待できないと判断された場合、相談者の了解や要請により、上記の関係機関、団体と連携して相談業務をおこなったことで「チーム支援」の意識が深まるとともに、新たな視点や発想の基で、課題解決に向けた取り組みが可能となってきた。</p> <p><教育相談の状況></p> <p>① 相談・来室者実人数：281人</p> <p>② 相談方法別相談件数（面談1回で複数人の面談を行なう場合あり） 来室による面談：111件・電話相談：42件・学校訪問：77件</p> <p>③ 相談対象者の年齢別相談回数（実質的な相談件数。相談報告書と一致する数）</p> <table border="1" data-bbox="438 1413 1390 1588"> <thead> <tr> <th>来訪者</th> <th>件数</th> <th>来訪者</th> <th>件数</th> <th>来訪者</th> <th>件数</th> <th>来訪者</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳幼児</td> <td>30</td> <td>小学生</td> <td>161</td> <td>中学生</td> <td>26</td> <td>高校生</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2</td> <td>教師</td> <td>2</td> <td>その他</td> <td>1</td> <td>合計</td> <td>233</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 相談の主訴（1件の相談に関し、複数の主訴あり）</p> <p>性格行動184件 不登校46件 育児・しつけ21件 非行・反社会行動8件 発達障がい59件 知的障がい11件 心身症10件 学校・学級経営25件 学校生活・園生活212件</p> <p>※27年度より、学校や保護者の要請により、心理発達検査（WISC-IV）も実施し、その結果を基に、学校職員や保護者等に説明の機会を持つようにしたことで、指導・支援の具体的な内容や方法、家庭生活におけるわが子への具体的な接し方、子育てのポイント等が分かり、とてもありがたいという声をいただいています。また、子ども支援課と連携し、認定子ども園の園長や保育士に対し、WISC検査実施を通して園児への支援方法について助言を行っています。</p>				来訪者	件数	来訪者	件数	来訪者	件数	来訪者	件数	乳幼児	30	小学生	161	中学生	26	高校生	11	保護者	2	教師	2	その他	1	合計	233
来訪者	件数	来訪者	件数	来訪者	件数	来訪者	件数																					
乳幼児	30	小学生	161	中学生	26	高校生	11																					
保護者	2	教師	2	その他	1	合計	233																					

事業の課題及び方向性	<p>関係機関との連携、共同体制の構築をさらに進めていく必要があります。早期発見・支援、一貫した継続的な支援が今後増々問われてきます。</p> <p>そのために、当市の大きな課題は、部局を超えた支援の連携は必須であるという共通認識のもと、更なる共同体制の構築に資していくことにあります。</p> <p>(例：就園前、就園時から小学校入学後への移行支援の充実→福祉部、保健医療部、教育部などの連携が必要)</p>
自己評価	B

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.4	事務事業名： 就学相談事業	H28 年度決算額	1,828 千円																																	
事業の目的	安曇野市心身障がい児就学相談委員会では、知的障がい、その他心身障がいの疑いのある児童等の調査、審査（入級、退級についての審査）および就学の相談を行う。																																				
事業内容	1 安曇野市心身障がい児就学相談委員会(委員 19 名) 年 3 回開催 2 5 地区別就学相談小委員会(小委員のべ数 67 名) 年間 10 回開催 3 小委員会に向け資料作成のため、調査員が幼保育園にて観察と相談(観察園児のべ数 130 名) 年 2 回実施 4 平成 27 年度就学相談を受け平成 28 年度小中学校 1 年に入学した児童生徒の経過観察(小 1 児童 49 名、中 1 生徒 42 名、計 91 名) 年 1 回実施																																				
達成状況	(判定数) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象者</th> <th rowspan="2">人数</th> <th colspan="3">判定結果</th> <th rowspan="2">判定と異なる就学者</th> </tr> <tr> <th>通常学級</th> <th>特別支援学級</th> <th>特別支援学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼児</td> <td>57</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>7</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>89</td> <td>2</td> <td>86</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>13</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>159</td> <td>30</td> <td>121</td> <td>8</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>				対象者	人数	判定結果			判定と異なる就学者	通常学級	特別支援学級	特別支援学校	幼児	57	26	24	7	4	児童	89	2	86	1	0	生徒	13	2	11	0	0	計	159	30	121	8	4
対象者	人数	判定結果					判定と異なる就学者																														
		通常学級	特別支援学級	特別支援学校																																	
幼児	57	26	24	7	4																																
児童	89	2	86	1	0																																
生徒	13	2	11	0	0																																
計	159	30	121	8	4																																
事業の課題及び方向性	1 就学判定数が平成 27 年度より 3 名増となっている。今後、早期スタートで年中からの相談も増えることが予想されるため、事務量の増加、調査員の人員不足が課題です。 2 園児の就学相談の早期スタートが必要です。																																				
自己評価	C																																				

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.5	事務事業名： 教育指導員・教育相談員の配置	H28 年度決算額	— 千円
事業の目的	各学校における学力・体力向上をはかると共に教育相談に対応し、安定した学校運営が行えるようにする。			
事業内容	(1) 教育全般について各学校・各機関との連携、支援 (2) 学力・体力向上にむけての取組 (3) 就学相談 (4) 教育相談 (職員体制：教育指導員 3 名 教育相談員 1 名)			
達成状況	(1) 教育全般について各学校・各機関との連携、支援 ① 学校と教育指導員との懇談会 4、5月に実施。市内 17 校 ② いじめホットラインとして、保護者や学校との相談 ③ 福祉課、子ども支援課等との連携担当者会議を実施 週 1 回 (2) 学力・体力向上に向けての取組 ① 安曇野市学力・体力 4 ヵ年計画の実施 (27 年度からスタート) ② 組織及び運営 ア 学力向上推進委員会 ・ 年 9 回開催し、全国学力・学習状況調査の結果を分析・考察し、報告書にまとめると共に、次年度へ向けた授業改善にかかわる提言をした。 イ 体力向上推進委員会 ・ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査や、新体力テストの結果を分析し、公表すると共に、体力向上にむけた実践を公表するとともに、体づくり、運動遊びの研修として、長野県版運動プログラム普及事業の実施。各学校に訪問し、体づくり・運動遊びや日常の運動などについて支援。 ウ 部活動運営委員会 ・ スクールサポート事業として、健全な部活動のあり方について検討、各校の課題解決に向けて支援。 (3) 就学相談 ① 心身障がい児就学相談委員会 ・ 小中学校入学及び在学中の児童生徒に関わる、適切な就学の検討。 (4) 教育相談 教育支援センター教育相談室での教育相談に対応。			
事業の課題及び方向性	○学力・体力向上については、4 ヵ年計画とし、28、29 年度は「定着と深化」、30 年度は「実践と評価・考察」に向けて取り組んでいきます。 ○就学支援および教育相談については、児童生徒の観察、保護者の意向などを確実に捉え、学校や各機関との連携を図りながら対応していきます。			
自己評価	A			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
<p>・新卒の教師がすぐに学級担任を任せ、半年後に心の病に陥るケースがあると聞く。周囲の教師も多忙であり、容易に相談・支え合いができない現状があるように思われる。このことから、子どもや保護者の教育に関する相談対応はもとより、教師の悩みについて気軽に相談できる窓口の周知・活用が必要である。</p>	<p>・校長会を窓口にして、初任者を中心にその状況をつかみ、校長の要請をもとに、指導主事・教育指導員共々個の困り感に寄り添った授業支援等を重ねた。全員の初任者が無事1年間を終えることができました。</p>	<p>・本年度も昨年度同様の支援を計画・実施しています。また、随時、校長はもちろん、教頭や初任者指導教員に対して、課題となっている教員の様子について聞き取りを行い、きめ細かい支援ができるよう、指導主事・教育指導員共々取り組んでいます。</p>
<p>・各学校が抱える課題解決に向けた独自の研修予算等の一層の充実を図る必要がある。</p>	<p>・教職員の資質向上を目的に、夏休みに研修の一環として参加型の講演会を企画開催しました。内容は、平成 30 年度から試行が始まる次期学習指導要領の柱の一つである「主体的・対話的で深い学び～アクティブ・ラーニングの推進」をテーマに講義と演習を行いました。</p> <p>・学校裁量における学校課題に対応した校内研修を実施しました。</p>	<p>・本年度は「特性をもった子どもたちへの教育対応の仕方について悩みが大きい」という現場の声をもとに、資質向上研修を計画しています。具体的には、「特性をもった子どもの理解と指導支援の在り方」を演題として講演会を予定しています。400 名余りが受講予定です。(7/28(金)予定)</p> <p>・本年度も各校で学校課題に対応した校内研修を引き続き実施していきます。</p>

事務事業	No.6	事務事業名： 学校加配職員及びスクールソーシャルワーカー等の配置・派遣事業	H28 年度決算額	135,222 千円																																											
事業の目的	障がい等により特別な支援を要する児童・生徒に対応するための職員を配置し、学習や学校生活の支援を行うとともに、障がい児等指導相談員等を派遣し指導方法の相談・助言を行い健やかな成長を支援する。																																														
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の要望に基づき、障がい児支援員・特別支援学級補助員・中間教室指導員等の配置 ・不登校対策として、各校を巡回するスクールソーシャルワーカー、不登校支援コーディネーター、スクールカウンセラーの派遣 ・障がい児等指導相談員（学校心理士・作業療法士・言語聴覚士）の派遣 																																														
達成状況	<p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児支援員は、特別支援学級や普通学級の仲間と行う授業等活動時に、特に学級内の人間関係面の支援とその子どもの特性に応じた支援を心掛け、子どもが安定して活動に参加し、自己実現の経験が数多くできるよう努力し、その児童生徒と周囲の集団の生活安定に大きく寄与している。 ・各校配置の中間教室指導員ほか、スクールソーシャルワーカー、不登校支援コーディネーター及び市適応指導教室の適応指導員など不登校支援に関わる職員が不登校傾向の子どもの支援の中核となり、関係機関とも連携しながら登校につなげる活動を行っている。 <p>【配置・派遣状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>職 名</th> <th>延べ人数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">賃金</td> <td>医療支援員（看護師）</td> <td>1</td> <td>（小学校）</td> </tr> <tr> <td>障がい児支援員</td> <td>21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別支援学級補助員</td> <td>22</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学習支援員</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間教室指導員</td> <td>19</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スクールソーシャルワーカー 不登校支援コーディネーター</td> <td>2</td> <td>（巡回型）</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>71</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">謝礼</td> <td>スクールカウンセラー</td> <td>9</td> <td>（巡回型）</td> </tr> <tr> <td>障がい児等指導相談員</td> <td>3</td> <td>（巡回型）</td> </tr> <tr> <td>放課後学習指導室支援員</td> <td>37</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>49</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>120</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○不登校支援コーディネーター活動のべ件数（2名合計） 面談 171 家庭訪問 188 登校支援 550 日中活動支援 1,111 支援会議 239 その他 366 合計 2,625</p>					職 名	延べ人数	備 考	賃金	医療支援員（看護師）	1	（小学校）	障がい児支援員	21		特別支援学級補助員	22		学習支援員	6		中間教室指導員	19		スクールソーシャルワーカー 不登校支援コーディネーター	2	（巡回型）	小計	71		謝礼	スクールカウンセラー	9	（巡回型）	障がい児等指導相談員	3	（巡回型）	放課後学習指導室支援員	37		小計	49		合計		120	
	職 名	延べ人数	備 考																																												
賃金	医療支援員（看護師）	1	（小学校）																																												
	障がい児支援員	21																																													
	特別支援学級補助員	22																																													
	学習支援員	6																																													
	中間教室指導員	19																																													
	スクールソーシャルワーカー 不登校支援コーディネーター	2	（巡回型）																																												
	小計	71																																													
謝礼	スクールカウンセラー	9	（巡回型）																																												
	障がい児等指導相談員	3	（巡回型）																																												
	放課後学習指導室支援員	37																																													
	小計	49																																													
合計		120																																													

事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> 課題を抱えている児童生徒が増加している中、障害者差別解消法を受け、合理的な配慮が求められています。そのためには支援を行う職員の配置についてはより要望及び重要性が増しています。このことからこの事業は継続することと共に、保護者の要望からも一層増員を考えていかななくてはならない事業です。 	
自己評価	A	

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.7	事務事業名： 学校 ICT 事業の推進	H28 年度決算額	62,260 千円
事業の目的	情報化社会の中で生活していくための手段として、また、学力の向上のため児童、生徒が ICT を活用した分かりやすい授業を実現することで、子ども達の「生きる力」を育む学校教育を推進する。			
事業内容	学校における教育用、校務用のパソコン等の情報機器の更新と整備を行うことにより、ICT 機器を活用した授業の推進及び教員の事務処理に係る負担軽減を図る。			
達成状況	<p>ICT 環境の整備に重要な情報ネットワークの高速化とセキュリティの強化を図るため、教育委員会管理のセンターサーバを設け、情報ネットワークの再構築を行う。</p> <p>また、文部科学省が示した「第 2 期教育振興基本計画」に基づき、「安曇野市学校情報機器等導入計画」の策定を進めるほか、更新時期を迎えるパソコン教室の教育用パソコン、教職員用の校務用パソコンを計画的に更新する。</p> <p>【センターサーバ設置】</p> <p>平成 27 年度 第 1 次構築・・・実施済 グループウェア・校務管理サーバ、資産管理サーバ設置</p> <p>平成 28 年度 第 2 次構築・・・実施済 教育用ファイルサーバ、管理サーバ、フィルタリングサーバ設置</p> <p>【各小中学校パソコン等更新計画】</p> <p>平成 28 年度 堀金小学校・明南小学校・明北小学校 堀金中学校・明科中学校</p> <p>平成 30 年度 穂高南小学校・穂高西小学校・穂高北小学校 穂高東中学校・穂高西中学校</p> <p>平成 31 年度 豊科南小学校・三郷小学校 豊科北小学校・豊科東小学校 豊科南中学校・豊科北中学校・三郷中学校</p>			
事業の課題及び方向性	第 2 期教育振興基本計画に示された、情報機器整備目標により電子黒板の導入、タブレット端末等の稼働型パソコンの整備を検討する中で、平成 30 年度に示される次期学習指導要領による授業内容の変化に対応する準備が必要となります。			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
<p>・電子黒板など、映像を通して子どもたちが興味を持って学習に取り組む環境を整備することは必要である。ICT 事業の推進により教師の負担が軽減され、より細かな効果的な指導に繋がるのが期待できる。ただし、「書くこと」「読むこと」「調べること」は学習の基本であり、バランスよく取り組む必要がある。</p>	<p>・中学校 7 校への電子黒板整備と特別支援学級へのタブレット端末の試験導入を行い、今後の授業活用の方向性を検証していきます。</p>	<p>・中学校 7 校に 126 台の電子黒板を設置します。 ・中学校 1 校の特別支援学級へタブレット端末 10 台を設置します。</p>

(様式)

事務事業	No.8	事務事業名： 英語教育の推進事業	H28 年度決算額	67,662 千円
事業の目的	グローバル化する国際社会に対応できる人材の育成を目指し、国際感覚を養うと共に、英会話能力の向上と英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童・生徒を育成する。			
事業内容	中学生海外ホームステイ交流派遣事業や中学校英語課外授業を実施するほか、中学校7校に1人ずつの外国人ALTと小学校の外国語活動において外国人ALT4人と日本人ALT2人を配置し、英語教育の推進を図る。			
達成状況	<p>中学生海外ホームステイ交流派遣事業</p> <p>本事業も3回目となり、平成28年度事業においても市内中学校2年生に募集を行い、14人の参加生徒に対し54人の応募があった。</p> <p>選考された参加生徒は、3回のオリエンテーション、6回の英会話レッスンを受講しホームステイに臨みました。現地での貴重な体験は、平成29年5月28日開催の帰国報告会で多くの来場者へ発表され、頼もしい中学生の姿を見ていただくことができた。</p> <p>派遣期間：平成29年3月18日(土)から3月27日(月)までの10日間 派遣先：オーストラリア メルボルン</p> <p>中学校英語課外授業</p> <p>市内中学校7校で放課後を活用して実施しています。授業は原則的に全て英語による実践的な英会話授業で、「英会話がもっと上達したい」「外国人と日常会話ができるようになりたい」と思う生徒が、ALT、参加生徒と英語でコミュニケーションを取ることで、英語の楽しさを実感できる課外授業となっている。</p> <p>平成28年度参加生徒数：70人</p> <p>外国語指導助手派遣事業</p> <p>小学校、中学校へALTを派遣し、英語授業におけるチームティーチングや英語に触れる機会は、子ども達の国際的視野の育成やコミュニケーション能力の素地を養い、英語教育の推進に繋がっている。</p>			
事業の課題及び方向性	<p>中学生海外ホームステイ交流派遣事業及び英語課外授業は、少人数での事業実施となるため、参加人数を拡大できるかは今後の検討となります。</p> <p>また、財政上の課題として、中学生海外ホームステイ交流派遣事業における個人補助額の見直しを検討する必要があります。</p>			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
・グローバル化に対応した教育環境づくりを進めるため、中学生海外ホームステイ交流派遣事業など、英語教育充実のための取り組みは評価できる。	・中学生海外ホームステイ交流派遣事業では、市主催の帰国報告会を開催するほか、各中学校において学校報告会を実施し、参加生徒が在校生に貴重な体験や英会話、コミュニケーション力の重要性を伝えました。	平成 29 年度においても、英語教育の推進のため、各事業の推進を図ります。

(様式)

事務事業	No.9	事務事業名： スクールサポート事業	H28 年度決算額	7,214 千円																				
事業の目的	子どもたちの育成環境の充実に向け、学校と家庭さらに地域の人々と連携を図り、開かれた特色ある学校づくりを進めるため、地域住民が多様な形態で学校教育を支援し、大人との関りを通じて「生きる力」を育む。																							
事業内容	地域の方々が学校支援ボランティアとして、学校が必要とする支援活動に参加するほか、立志塾の開催、各地域における地域教育協議会においては、学校運営等の協議を行い地域と学校が共通理解を図る。																							
達成状況	<p>学校支援ボランティアの活動</p> <p>平成 28 年度の市内全小中学校からのスクールサポート事業申請件数（部活動外部指導者申請を含む）は 212 件で、昨年度より 19 件増加している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成 27 年度申請件数</th> <th>平成 28 年度申請件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習支援活動 75 件</td> <td>学習支援活動 87 件</td> </tr> <tr> <td>総合的な学習支援活動 48 件</td> <td>総合的な学習支援活動 41 件</td> </tr> <tr> <td>読書支援活動 17 件</td> <td>読書支援活動 17 件</td> </tr> <tr> <td>子ども安全支援活動 8 件</td> <td>子ども安全支援活動 9 件</td> </tr> <tr> <td>環境整備支援活動 7 件</td> <td>環境整備支援活動 7 件</td> </tr> <tr> <td>外国籍児童生徒支援活動 3 件</td> <td>外国籍児童生徒支援活動 4 件</td> </tr> <tr> <td>不登校支援活動 1 件</td> <td>障がい児支援活動 1 件</td> </tr> <tr> <td>部活動支援活動（外部講師） 34 件</td> <td>部活動支援活動（外部講師） 45 件</td> </tr> <tr> <td>課外活動支援活動 4 件</td> <td>課外活動支援活動 1 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>立志塾の開催</p> <p>市内各中学校では、安曇野の中学生のよりよい育ちに向け、子どもたちの心に火をつけ、高き志を培うことを目標に、学社連携の取り組みとして、各学校に講師を招き開催している。</p> <p>平成 28 年度開催学校：6 校 開催回数：12 件</p>				平成 27 年度申請件数	平成 28 年度申請件数	学習支援活動 75 件	学習支援活動 87 件	総合的な学習支援活動 48 件	総合的な学習支援活動 41 件	読書支援活動 17 件	読書支援活動 17 件	子ども安全支援活動 8 件	子ども安全支援活動 9 件	環境整備支援活動 7 件	環境整備支援活動 7 件	外国籍児童生徒支援活動 3 件	外国籍児童生徒支援活動 4 件	不登校支援活動 1 件	障がい児支援活動 1 件	部活動支援活動（外部講師） 34 件	部活動支援活動（外部講師） 45 件	課外活動支援活動 4 件	課外活動支援活動 1 件
平成 27 年度申請件数	平成 28 年度申請件数																							
学習支援活動 75 件	学習支援活動 87 件																							
総合的な学習支援活動 48 件	総合的な学習支援活動 41 件																							
読書支援活動 17 件	読書支援活動 17 件																							
子ども安全支援活動 8 件	子ども安全支援活動 9 件																							
環境整備支援活動 7 件	環境整備支援活動 7 件																							
外国籍児童生徒支援活動 3 件	外国籍児童生徒支援活動 4 件																							
不登校支援活動 1 件	障がい児支援活動 1 件																							
部活動支援活動（外部講師） 34 件	部活動支援活動（外部講師） 45 件																							
課外活動支援活動 4 件	課外活動支援活動 1 件																							
事業の課題及び方向性	スクールサポート事業で、これまで積み上げてきた市教委・学校・地域の連携体制を継承し、地域と一体となって地域の子どもの育み「安曇野市コミュニティスクール事業」として推進と充実を図り、地域とともにつくる学校を目指します。																							
自己評価	B																							

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
<p>・学校が必要とする人材（講師等）の発掘に努めるなど、より充実・発展させる必要がある。スクールサポート事業の発展は生涯学習の推進にもつながる。</p>	<p>・地域コーディネーター、学校、市教委が連携して、学校が必要とする人材の確保を進めます。</p>	<p>・安曇野市コミュニティスクール事業の開始に伴い、学校支援ボランティアを「学校応援隊」と改め、地域の方が「ともに学ぶ学習者」としての位置付けを行い、地域コーディネーター、学校と協議しながら、活動機会の設置を検討します。</p>

(様式)

事務事業	No.10	事務事業名： 中学生議会事業	H28 年度決算額	— 千円
事業の目的	中学生の目線による斬新な発想やアイデアを今後の協働のまちづくり推進に活かすとともに、中学生が主権者の立場で政治への関心を高められるようにする。			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各中学校（7校）2年生から、計18人を中学生議員として委嘱する。 ・全2回の学習会で、市政について市職員から学習する。 ・提言型の質問書を作成し、中学生議会当日発表する。 			
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会の実施 第1回学習会では、市の12部42課の方から市政の説明を受けた。 グループは6つに分かれて実施。 （1）福祉・保健（2）安全・安心（3）観光・産業 （4）教育（5）まちづくり（6）環境 第2回学習会では、さらに詳しく知りたい課に質問したり、深く説明を聞いたりする機会を設けた。 ・質問書の作成 各中学校の担当教諭のご指導の基、質問書を作成した。 ・傍聴を増やすための取組 ○議会当日にパブリックビューイングとして、大会議場にて中継による傍聴を可能にした。 ○支所や図書館などに、中学生議会のポスターの掲示依頼。 →28年度の傍聴数は73名（昨年度39名）。 			
事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで中学生議会で提案されたことに対する各課の取組を整理し、毎年の課題が建設的な提言になっていくようにします。 ・主権者教育として、中学生議会当日に中学生や高校生が多数参加できる方策を検討していきます。提言型質問の内容が、市政には寄り添うものになりますが、中学生からは少し離れた内容になりやすいので、その差を埋めることを考えていきます。 			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.11	事務事業名： 指導主事「授業支援」事業	H28 年度決算額	— 千円																									
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・安曇野の教育大綱と学力体力向上4ヵ年計画を実現する。 ・次期学習指導要領に求められている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて教員の資質能力向上を図る。 																												
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校 17 校への授業づくり支援 ・研究グループ（部会）への参加、支援 ・指導主事通信を発行し、先生方や児童生徒のよい姿をとらえ、広めていく。 																												
達成状況	<p>全 92 回の学校訪問のうち、学校からの要請は 34 回。市教委で毎月取りまとめている公開可能な研究授業へはできる限り参加した。しかし、研究授業の実施時期は集中する傾向にあり、訪問回数に偏りが出たので、計画的な訪問ができるよう来年度の課題とする。要請には、ほぼ対応することができた。</p> <p>支援内容の内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>訪問回数</th> <th>研究授業</th> <th>授業参観</th> <th>研究部会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>37</td> <td>13</td> <td>23※</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>49</td> <td>13</td> <td>34※</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>86</td> <td>26</td> <td>57※</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>支援センター他</td> <td>6</td> <td colspan="3">※教育指導員との懇談会（春）の授業参観を含む</td> </tr> </tbody> </table>				区分	訪問回数	研究授業	授業参観	研究部会	小学校	37	13	23※	1	中学校	49	13	34※	2	合計	86	26	57※	3	支援センター他	6	※教育指導員との懇談会（春）の授業参観を含む		
区分	訪問回数	研究授業	授業参観	研究部会																									
小学校	37	13	23※	1																									
中学校	49	13	34※	2																									
合計	86	26	57※	3																									
支援センター他	6	※教育指導員との懇談会（春）の授業参観を含む																											
事業の課題及び方向性	<p><input type="checkbox"/>教師主導型からの脱却</p> <p>次期学習指導要領（案）が示されました。児童生徒に付けるべき資質・能力は、教師主導ではどうにもならないことは明確です。来年度は安曇野市 4 ヵ年計画の「深化」の年。教職員の意識改革を図っていきます。</p> <p><input type="checkbox"/>五感を使って学ぶ授業に～ICTの活用を含めて～</p> <p>「百聞は一見に如かず」…というように“視覚”をもっと活用できたらと考えます。大きく拡大して資料を映すことから始めていきます。</p> <p><input type="checkbox"/>学級づくりが授業づくりの基盤</p> <p>学級集団に安心感があれば、素敵な学びが成立しています。学力向上に向けて、学級指導と教科指導の両方を大切にしていきます。</p>																												
自己評価	B																												

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.12	事務事業名： 入学準備金貸付制度	H28 年度決算額	8,050 千円																															
事業の目的	未来を担う人材の育成を図るため、高等学校又は大学等への入学に要する費用の支出が困難な保護者に対し、入学準備金を無利子で貸付ける「安曇野市入学準備金貸付制度」を創設し、平成 28 年 11 月から運用を開始した。																																		
事業内容	平成 29 年 4 月に高等学校又は大学等への入学を希望する生徒の保護者で、入学に要する費用の支出が困難な方に対し、入学準備金の貸付けを無利子で行う。																																		
達成状況	<p>1. 貸付限度額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">学校種別等</th> <th>貸付限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">高等学校・高等専門学校</td> <td>国・公立</td> <td>10 万円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>30 万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大学・短期大学・専門学校</td> <td>国・公立</td> <td>40 万円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>60 万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 要件</p> <p>① 高校・大学等に入学することが確実である進学希望者の保護者で安曇野市に住民票があり、かつ、現に市内に居住している方</p> <p>② 生計を一にする者の所得の合計額が基準額以下である方</p> <p>③ 所得の合計額が基準額以上であっても、経済状況等が急変した方</p> <p>④ 連帯保証人を立てられる方</p> <p>3. 返済方法 入学月の 4 月から返済が始まり、進学者の通常の修学期間内に完済</p> <p>4. 平成 28 年度利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>公立高校</th> <th>私立高校</th> <th>国立大学</th> <th>私立大学</th> <th>専門学校</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 件</td> <td>3 件</td> <td>1 件</td> <td>4 件</td> <td>7 件</td> <td>17 件</td> </tr> <tr> <td>200,000 円</td> <td>850,000 円</td> <td>400,000 円</td> <td>2,400,000 円</td> <td>4,200,000 円</td> <td>8,050,000 円</td> </tr> </tbody> </table>				学校種別等		貸付限度額	高等学校・高等専門学校	国・公立	10 万円	私立	30 万円	大学・短期大学・専門学校	国・公立	40 万円	私立	60 万円	公立高校	私立高校	国立大学	私立大学	専門学校	計	2 件	3 件	1 件	4 件	7 件	17 件	200,000 円	850,000 円	400,000 円	2,400,000 円	4,200,000 円	8,050,000 円
学校種別等		貸付限度額																																	
高等学校・高等専門学校	国・公立	10 万円																																	
	私立	30 万円																																	
大学・短期大学・専門学校	国・公立	40 万円																																	
	私立	60 万円																																	
公立高校	私立高校	国立大学	私立大学	専門学校	計																														
2 件	3 件	1 件	4 件	7 件	17 件																														
200,000 円	850,000 円	400,000 円	2,400,000 円	4,200,000 円	8,050,000 円																														
事業の課題及び方向性	<p>・平成 28 年度は、制度運用開始が 11 月からとなり、高校・大学等への進学検討時期（進路指導等の時期）を超えていました。このため、平成 29 年度は、夏休み前に、中学校、高校等の生徒及び保護者への周知を図ります。</p>																																		
自己評価	C																																		

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.13	事務事業名： 学校安全対策事業	H28 年度決算額	2,812 千円
事業の目的	通学路、学校敷地内の安全確保に対する対策を実施する。			
事業内容	児童・生徒の安全確保のため、熊よけ鈴の配布、通学路安全マップの作成、スズメ蜂等の害虫駆除、学校緊急無線通報システム、学校安全連絡網メール配信システムの活用、通学路合同点検の実施等の各種対策をする。			
達成状況	<p>(1) 熊よけ鈴の配布 該当地域の小中学校に対し配布しています。 該当地域：穂高地域、堀金地域、三郷地域、明科地域（小中 12 校）</p> <p>(2) 通学路安全マップの作成 通学路における危険箇所、注意箇所を記載した安全マップを関係機関及び地域に配布し、安全指導、見守り等の安全確保に活用していただくほか、市ホームページにも掲載し、一般の方が確認できるようにしている。</p> <p>(3) スズメ蜂等害虫駆除 学校敷地内のスズメ蜂の巣を専門業者に依頼し、駆除を行っている。 平成 28 年度実施件数：11 回</p> <p>(4) 学校緊急無線通報システム 学校内に不審者が侵入した場合や事故等があった場合、即座に職員室に連絡が取れる緊急無線通報システムを活用している。</p> <p>(5) 学校安全連絡網メール配信システム 安全連絡網メール配信システム（オクレンジャー）により、警察からの不審者情報をタイムリーに送信させていただくほか、緊急連絡網として活用している。</p> <p>(6) 通学路合同点検の実施 通学路の継続的な安全確保の取り組みとして「安曇野市通学路交通安全プログラム」を策定し、地区・PTA 要望としてご提出いただいた、通学路危険箇所を警察、道路管理者、学校、地域の方々と点検を行い、改善等の対応をしている。 また、学校教育課としても「通学路」標識等の修繕、設置工事を実施している。 平成 28 年度設置枚数：9 枚</p>			
事業の課題及び方向性	児童・生徒の安全確保については、関係機関等との連携を強化し、情報共有を行いながら推進していきます。			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
・地域をよく知る P T A の方々による「青パト」の防犯パトロールは、犯罪等の抑止や通学路の安全点検等、子どもの安全・安心を守る取り組みとして高く評価できるので、今後も続けてほしい。	・市内全ての小中学校の P T A 活動として、実施していただいています。	・今後も継続して実施していただくよう支援等を行っていきます。

(様式)

事務事業	No.14	事務事業名： 小・中学校施設改修事業	H28 年度決算額	512,188 千円															
事業の目的	1. 学校教育法に基づき、小・中学校施設を整備する。 2. 国が示す耐震性能を確保し、安全な施設環境を提供する。 3. 老朽化した施設を改修し、健全な施設環境を提供する。																		
事業内容	1. 屋内運動場の非構造部材の耐震化 2. 老朽化したトイレの改修 3. 校舎の長寿命化改良																		
達成状況	1. 屋内運動場の非構造部材の耐震化 災害発生時に避難所となる体育館等の天井等の落下防止対策工事を行い、防災機能を強化しました。平成 28 年度は計画していた 5 箇所全てを施工した。 <table border="1" data-bbox="405 728 1375 1028"> <thead> <tr> <th>実施場所</th> <th>工事請負費</th> <th>主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊科南小学校 体育館</td> <td>54,000,000 円</td> <td rowspan="4"> ・吊り天井撤去 ・高天井照明の耐震化 ・高天井照明の LED 化 </td> </tr> <tr> <td>穂高南小学校 講堂</td> <td>102,600,000 円</td> </tr> <tr> <td>穂高東中学校 体育館</td> <td>128,520,000 円</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校 講堂</td> <td>79,920,000 円</td> </tr> <tr> <td>三郷小学校 第 2 体育館(Ⅱ期)</td> <td>48,006,000 円</td> <td>・外壁の耐震化</td> </tr> </tbody> </table> 三郷小学校第 2 体育館(Ⅱ期)工事については、補助金の財源となる国庫予算の繰越しに合わせ、平成 27 年度予算を繰越して実施した。				実施場所	工事請負費	主な内容	豊科南小学校 体育館	54,000,000 円	・吊り天井撤去 ・高天井照明の耐震化 ・高天井照明の LED 化	穂高南小学校 講堂	102,600,000 円	穂高東中学校 体育館	128,520,000 円	三郷中学校 講堂	79,920,000 円	三郷小学校 第 2 体育館(Ⅱ期)	48,006,000 円	・外壁の耐震化
実施場所	工事請負費	主な内容																	
豊科南小学校 体育館	54,000,000 円	・吊り天井撤去 ・高天井照明の耐震化 ・高天井照明の LED 化																	
穂高南小学校 講堂	102,600,000 円																		
穂高東中学校 体育館	128,520,000 円																		
三郷中学校 講堂	79,920,000 円																		
三郷小学校 第 2 体育館(Ⅱ期)	48,006,000 円	・外壁の耐震化																	
	2. トイレの改修 平成 28 年度におけるトイレ改修は、1 校を計画して施工した。 ○豊科北中学校トイレ改修工事(Ⅱ期) 工事請負費：77,760,000 円 当工事は、Ⅲ期工事(平成 29 年度施工)まで予定している。																		
	3. 校舎の長寿命化改良 構造体等の長寿命化対策及び老朽対策を実施するための設計業務を委託した。 なお、当業務は平成 29 年度までの債務負担により実施している。 ○穂高南小学校長寿命化改良工事実施設計業務委託 委託料：13,705,200 円																		
事業の課題及び方向性	体育館等の非構造部材耐震化工事については、学校の夏休みに工事が集中するなか、概ね計画どおりに実施することができました。国の予算事情により老朽対策工事への補助金交付が見込めない状況となっていることから、各施設の課題を整理して改修内容を検討していくことが求められています。																		
自己評価	B																		

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
・地域の避難所として、学校はなくてはならない施設であり、トイレ等の改修も含め、整備の推進に一層努めてほしい。	・トイレ改修等の老朽対策事業への国庫補助が見込めない状況であるため、国が推奨する長寿命化改良事業へ老朽対策を含めて実施できるよう検討を進めています。	・平成 29 年度から穂高南小学校の長寿命化改良工事を実施します。

(様式)

事務事業	No.15	事務事業名： 給食事業	H28 年度決算額	301,436 千円
事業の目的	安曇野市学校給食理念（目標）に基づき、安全・安心で栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、地産地消及び食育の推進を図る。			
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 市内 17 の小・中学校に安全・安心で美味しい給食の提供 2 食育への取り組みと地産地消の推進 3 学校給食食材の安全確保の取り組み 4 学校給食費の徴収及び食材費支払い 			
達成状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 市内 17 の小・中学校に安全・安心で美味しい給食の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・1日の給食提供食数 約 8,620 食 ・年間の給食提供食数 約 1,724,000 食 ・アレルギー対応食提供者数 45 人 2 食育への取り組みと地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・月 1 回「安曇野の日」を設定し、地元食材を使用した献立の提供により地産地消の推進を図った（年 12 回、4 センター共通） ・栄養教諭、栄養士等が学校訪問し、食育（栄養・食事のバランス・食の大切さ等）の直接指導を行った。（市内 17 校、314 クラス） ・給食だよりの発行（給食提供日全クラス数発行、4 センター共通） 3 学校給食食材の安全確保の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・市独自の放射線測定の実施（H23.11 月から） 全 340 食材（不検出） ・県への学校給食食材放射性物質検査の依頼（H24.4 月から 4 センター週 1 回） 全 39 食材（不検出） 4 学校給食費の徴収状況 <ul style="list-style-type: none"> ・口座振替登録率 99.61% ・給食費収納率 99.74%（前年比+0.01ポイント） 			
事業の課題及び方向性	<p>【課題】 稼働から 10 年以上を経過（北部センター除く）し、厨房設備・施設等の修繕費が増加しています。</p> <p>学校給食費の収納率の向上にむけての対策を強化します。</p> <p>【方向性】 安全・安心で栄養バランスのとれた給食を安定的に提供できるように管理運営を実施する。併せて、地元食材の使用拡大を進め地産地消推進と栄養教諭等の学校訪問を積極的に進め、食育の推進を図ります。</p>			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
<p>・将来的に給食センターの民営化が検討されているが、民営化に際しては地元食材の利用とともに、安全・安心な食材の確保への配慮が必要である。</p>	<p>・「安曇野の日」を設け地元産の食材を使用した献立の提供を実施。</p> <p>・JA・物産センター等と情報交換をし、地域食材の活用に努めています。(献立の作成は民営化対象外であり、食材の購入等設置者の意向を十分反映する管理体制を設ける。)</p>	<p>・H28 年度と同様に地元・県産食材の使用を中心に、地産地消の推進を図っていきます。</p>
<p>・学校給食費の口座振替の導入により、学校給食費の徴収率が高いことは評価できる。ただし、口座振替が不能な場合、直ちに手集金を行うなど早期の対策が必要である。</p>	<p>・学校との連携により、面談による「納付相談」の実施。</p> <p>・電話催告(納付書納入)</p> <p>・「児童手当」「就学援助費」からの徴収強化。</p>	<p>・H28 年度の対応を継続。臨戸訪問による徴収。</p>

(様式)

事務事業	No.16	事務事業名： 青少年健全育成事業	H28 年度決算額	13,718 千円
事業の目的	青少年が心身ともに健やかに育ち、社会の一員としての使命と役割に自覚をもって自立する力を育成する。			
事業内容	1 青少年センター事業 2 青少年体験事業 3 子ども会育成会支援			
達成状況	<p>1 青少年センター事業</p> <p>(1) 市の青少年健全育成の拠点となる「青少年センター」の事業において、広報・啓発、青少年相談、街頭巡回、社会環境浄化活動に取り組みました。</p> <p>(2) 広報・啓発活動として、子どもを取り巻くネット社会の現状に関する講演会「子どものスマホやインターネットのトラブル事例と対処」を開催、広報紙の発行、青少年相談活動として、学校教育課と連携した相談対応、街頭巡回活動として、夏冬春休み中の5地域の街頭巡回、社会環境浄化活動として、有害図書・ビデオ等の自動販売機現地確認、また中高生の居場所づくりを実施している茅野市の『CHUKO らんどチノチノ』の先進地視察を行った。</p> <p>2 青少年体験事業</p> <p>(1) 子どもの科学に対する探究心を深めるため、子どもから大人まで楽しめる米村でんじろうサイエンスプロダクションによるサイエンスショーを10月9日に堀金総合体育館サブアリーナで開催し、約450人の来場があった。</p> <p>(2) 「子ども文化祭」を11月26日穂高交流学習センター「みらい」にて行いました。ステージ発表の部12団体、展示の部5団体、体験交流の部2団体が参加し、参加者は283人、来場者は約300人であった。</p> <p>(3) ジュニアリーダー養成講座を各地区の子ども会育成会の小学校高学年生を対象に、子どもたちの活動に役立てることができるレクレーション講座を6月11日に堀金総合体育館で、三九郎組立講座を11月12日に堀金中央公園で開催し、それぞれ28人と27人の児童が参加した。</p> <p>(4) 『まごころ工房』と題して、犬との触合いを通して命の大切さを学ぶ講座をはじめ、子どもたちが体験できる講座を年間6回開催し、86人の児童が参加した。</p> <p>3 子ども会育成会支援</p> <p>(1) 地域での子ども達の自主的な活動を推進させ、また、地域育成会の活動の活発化を目的に子ども会育成会活動への補助を行った。</p> <p>(2) 基本補助金（平等割、均等割）98 地区育成会（補助金：4,696,500 円）</p> <p>(3) 活性化補助金 43 地区育成会（補助金：1,749,000 円）</p> <p>(4) 安全共済会加入補助 8,386 人（補助金：1,257,780 円）</p>			
事業の課題及び方向性	<p>青少年センター事業は、市内の関係機関・団体及び市役所内の他部署と連携を進め、更なる充実を図っていきます。</p> <p>青少年体験事業は、多くの児童が参加できるように、興味を持てる新たな講座・イベントを企画していくことが課題です。</p> <p>子ども会育成会支援については、活性化補助金の利用を推進していきます。</p>			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
・年間を通じて様々な事業が展開されているが、今後、高校生以上の青少年自らがリーダーとなって各種行事を引っ張っていけるような体制・仕組みづくりの検討が必要である。	・ジュニアリーダーに将来なる得る人材を育成するため、子ども会育成会においてリーダー的役割を務める高学年を対象に養成講座を開催しました。	・平成 28 年と同様に事業を進めます。
・年 3 回発行される「青少年だより」は、内容が充実しており、意識啓発の点において評価できる。子どもの祖父母にも「ネット社会」への関心を持ってもらうため、関係する講演会の開催などについて周知する必要がある。	・「青少年センターだより」を 3 回発行いたしました。 ・講演会開催にあたって広報及び小・中学校全児童を対象にチラシを配布しました。	・「青少年センターだより」を 3 回発行する予定です。
・「こども映画教室」は、子どもたちが映画製作を経験することの面白さが身につく事業であり、芸術分野で秀でた人材を育む機会であると思う。単発で終わりとするのではなく、「こども映画教室」を通して、さらに活動・交流の輪が広がることを期待できる。	・小学 4 年生から高校 2 年生の 19 人の児童が参加し、自分たちのアイデアを元に出演及び制作を行い、全 7 回の教室で、タイトル「びっくりマンデー」の短編映画 (約 16 分間) を作成しました。	・小学 4 年生から中学 3 年生の 19 人の児童が参加し、映画を作成します。

(様式)

事務事業	No.17	事務事業名： 成人式	H28 年度決算額	3,798 千円																																																
事業の目的	<p>当該年、成人となる若者を一堂に迎えて祝福するとともに、新成人としての自覚と誇りをもって前進することを念願して、安曇野市成人式を挙げる。</p> <p>この祝典を通じて、特に社会参加と、明るく豊かな社会づくりへの積極的な意識・態度を養う契機とする。</p>																																																			
事業内容	<p>記念写真撮影 記念式典 交流会</p>																																																			
達成状況	<p>安曇野市で 11 回目となる成人式を開催しました。平成 29 年の成人式は安曇野スイス村サンモリッツを会場に 1 月 8 日（日）の連休中日に挙行され、対象者 1,041 人のうち 780 人の出席があった。</p> <p>式典は進行などの役割を実行委員が行い、来賓約 60 人の御臨席いただき厳正に執り行われた。市から記念品として「袱紗」と「記念写真」を贈った。</p> <p>なお、記念写真は、出身中学校別に当時の恩師も含め撮影したものである。</p> <p>式典後は、実行委員会制作のフォトムービーを鑑賞し、懐かしい給食を味わいながら交流会が行われた。</p> <p>※安曇野市成人式の出席の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>出席者数</th> <th>対象者数</th> <th>出席率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20</td> <td>768</td> <td>1,130</td> <td>68.0</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>724</td> <td>1,069</td> <td>67.7</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>764</td> <td>1,041</td> <td>73.4</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>743</td> <td>1,028</td> <td>72.3</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>765</td> <td>1,049</td> <td>72.9</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>747</td> <td>1,041</td> <td>71.8</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>716</td> <td>979</td> <td>73.1</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>844</td> <td>1,155</td> <td>73.1</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>761</td> <td>1,028</td> <td>74.0</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>780</td> <td>1,041</td> <td>74.9</td> </tr> <tr> <td>平均</td> <td>761</td> <td>1,056</td> <td>72.1</td> </tr> </tbody> </table>				年	出席者数	対象者数	出席率 (%)	20	768	1,130	68.0	21	724	1,069	67.7	22	764	1,041	73.4	23	743	1,028	72.3	24	765	1,049	72.9	25	747	1,041	71.8	26	716	979	73.1	27	844	1,155	73.1	28	761	1,028	74.0	29	780	1,041	74.9	平均	761	1,056	72.1
年	出席者数	対象者数	出席率 (%)																																																	
20	768	1,130	68.0																																																	
21	724	1,069	67.7																																																	
22	764	1,041	73.4																																																	
23	743	1,028	72.3																																																	
24	765	1,049	72.9																																																	
25	747	1,041	71.8																																																	
26	716	979	73.1																																																	
27	844	1,155	73.1																																																	
28	761	1,028	74.0																																																	
29	780	1,041	74.9																																																	
平均	761	1,056	72.1																																																	
事業の課題及び方向性	<p>成人式は、対象者は近年 1,000 人前後を推移しており、出席率についてはここ数年 70%以上の高い水準を維持しています。今後も実行委員と実施内容を検討し、記念となる式典になるよう努めます。</p>																																																			
自己評価	B																																																			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
・成人式は、毎年、70 パーセント以上の出席者を得ており評価できる事業である。例えば、成人式において現在の中学校の後輩たちの元気な姿を映像で披露したりするような企画を取り入れることを検討してほしい。	・本人たちの中学時代の卒業アルバムを元にフォトムービーを作成し上映しました。	・実行委員会にて検討いたします。

(様式)

<p>事務事業</p>	<p>No.18</p>	<p>事務事業名： 安曇野市1/2成人式記念 人 権・平和特別授業～kizuki～</p>	<p>H28 年度決算額</p>	<p>2,234 千円</p>
<p>事業の目的</p>	<p>市を一体とする新たな取り組みとして、市内の小学校（10校）の4年生（対象児童：881人）が共通の体験を積み、安曇野に対する郷土愛や児童同士の絆を深め、人権について学習することを目的に開催した。内容は、全員での市歌斉唱、各学校毎に「私たちが願う平和な安曇野」についての発表、ミュージカル「とべないホテル」（劇団ポプラ）の鑑賞を行った。</p> <p>また、もうひとつ全市的取り組みとして「安曇野市人権尊重作文集～kiseki～」の作成を行うこととし、小学4年生については、この特別授業の取組みについて作文することとした。</p>			
<p>事業内容</p>	<p>市歌斉唱 各学校毎の「私たちが願う平和な安曇野」の発表 ミュージカル「とべないホテル」（劇団ポプラ）の鑑賞 人権尊重作文の取組み</p>			
<p>達成状況</p>	<p>○市歌斉唱 学校において事前に練習を依頼し、当日は約900人の児童が声を合わせて市歌を斉唱した。市歌を市民に周知する良い機会となった。</p> <p>○「私たちが願う平和な安曇野」の発表 各学校において普段から取り組んでいるなかよし運動やあいさつ運動、いじめや差別をしない児童会活動などを発表し、他の学校の取組みも聞くことができたので、児童にとって良い経験・学習となった。</p> <p>○ミュージカル「とべないホテル」の鑑賞 今回のミュージカル「とべないホテル」は、小学4年向け道徳教科副読本掲載原作童話のため、学校も学習として取組み易い内容であったため、児童の心に残る鑑賞ができたこと好評であった。</p> <p>○人権尊重作文の取組み 安曇野市人権尊重作文集～kiseki～は、市内小学校3年生から中学校3年生の各学年から2～4作品を選考（小学4年生は1校1作品）、合計27作品を掲載し、各学校・図書館・人権教育推進委員・各地区人権教育推進委員に配布して、人権教育の教材・資料としてに役立てることができた。</p>			
<p>事業の課題及び方向性</p>	<p>市制施行10周年記念事業として行った「安曇野市1/2成人式」をさらに発展させ、安曇野に対する郷土愛や児童同士の絆を深める人権・平和特別授業が実施できた。今後は対象児童の検討（高学年を対象として欲しい）など学校からの要望も寄せられているため、改善が必要です。</p>			
<p>自己評価</p>	<p>A</p>			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
<p>・「1/2 成人式」は内容が大変良かった。夢を持ち、夢をかなえるために苦勞した人の実体験に基づく話を聞くことは、未来を担う子どもたちにとって、大変役立つと思う。地元企業の経営者にも良いお話をされる方がいるので、実現に向け検討していただきたい。</p>	<p>・「1/2 成人式」の内容を「人権・平和特別授業」とし、発展させたことにより、児童が人権について「気付く」・「築く」学習を実施することができました。</p> <p>・人権尊重作文集を作成・配付できたことも大きな成果と考えます。</p>	<p>・「人権・平和特別授業」として実施するのは2年目であり、特に児童の発表について大切に取り組んでいきます。</p> <p>・人権尊重作文集は、配付するだけでなく、各地区公民館の人権学習会で取り上げるなど、活用について検討します。</p>

(様式)

事務事業	No.19	事務事業名： 安曇野検定	H28 年度決算額	1,122 千円																				
事業の目的	「合併後、他地域のことを知る機会がない。市として市民の一体感を醸成するには、お互いの地域を知る機会が不可欠である」との市民の声から、平成 23 年度より『安曇野検定』を実施しています。																							
事業内容	検定（一般の部【基本編】・【講座編】、ジュニアの部） 準備講座（全 10 回）																							
達成状況	<p>○検定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>受検者</th> <th>合格者</th> <th>合格率</th> <th>※平成 27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般の部（基本編）</td> <td>45 人</td> <td>42 人</td> <td>93.3%</td> <td>27 人（合格者なし）</td> </tr> <tr> <td>一般の部（講座編）</td> <td>37 人</td> <td>17 人</td> <td>45.9%</td> <td>74 人（合格者 67 人）</td> </tr> <tr> <td>ジュニアの部</td> <td>241 人</td> <td>156 人</td> <td>64.7%</td> <td>150 人（合格者 81 人）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の部【基本編】 過去 5 年間（平成 23 年度～平成 27 年度）の一般の部の問題から出題。 ・一般の部【講座編】 検定準備講座（全 10 回）の内容から問題を出題。 ・ジュニアの部 過去 3 年間（平成 25 年度～平成 27 年度）のジュニアの部の問題から出題。 <p>※合格基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の部【基本編】【講座編】ジュニアの部…100 点満点中 70 点以上が合格 <p>○準備講座</p> <p>本年は「山の日制定初施行」及び「拾ヶ堰開削 200 年」を講座のキーワードに、文化課と連携して、昨年度豊科郷土博物館で開催された企画展「興味津々あづみの FOOD」も講座に取り上げました。</p> <p>全 10 回の講座（①松沢求策と自由民権運動、②山の日制定記念 田淵行男、③山の日制定記念 北アルプス登山開拓者たち、④山の日制定記念「常念を見よ」佐藤嘉市、⑤安曇野の昔ばなし、⑥「興味津々あづみの FOOD」、⑦拾ヶ堰開削 200 年、⑧荻原守衛一愛は芸術なり 相剋は美なり一、⑨相馬愛蔵と黒光【全編】、⑩相馬愛蔵と黒光【後編】）を実施、延べ 119 人が受講しました。</p>				区分	受検者	合格者	合格率	※平成 27 年度	一般の部（基本編）	45 人	42 人	93.3%	27 人（合格者なし）	一般の部（講座編）	37 人	17 人	45.9%	74 人（合格者 67 人）	ジュニアの部	241 人	156 人	64.7%	150 人（合格者 81 人）
区分	受検者	合格者	合格率	※平成 27 年度																				
一般の部（基本編）	45 人	42 人	93.3%	27 人（合格者なし）																				
一般の部（講座編）	37 人	17 人	45.9%	74 人（合格者 67 人）																				
ジュニアの部	241 人	156 人	64.7%	150 人（合格者 81 人）																				
事業の課題及び方向性	<p>安曇野検定は、開始から 6 年を経過し当初の目的については一定の役割を果たせたので、新たな展開を図る必要があります。</p> <p>今後は、検定準備講座の充実とジュニアの部は学校（クラス）単位の取り組みにより参加者が増加しているため、郷土学習としての取り組みを各学校へ周知したり、児童向けのテキスト作成など、新たな取り組みも実施します。</p>																							
自己評価	C																							

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
<p>・全国적으로ご当地検定は下火傾向にあるが、郷土の歴史等を学ぶ機会でもあり、意義がある事業である。ただし、安曇野検定の問題は、地理や数値的なものなど大変難しいので、「知る楽しさ」が味わえるような問題づくりの検討が必要と考える。</p>	<p>・平成 28 年度は、一般の部【基本編】およびジュニアの部で出題範囲を過去問としたことにより、合格者は増加しましたが、市の歴史・文化を新たに学び、生かす事業としては、【講座編】のみとなりました。</p>	<p>・平成 29 年度は、一般編は【講座編】のみとし、準備講座で「知る楽しさ」を味わうことができ、安曇野検定では、学習する目的・学習の定着につながると思います。</p> <p>・ジュニアの部は「安曇野の昔ばなし」をまとめた冊子を作成し、これをテキストとして学習をすすめ、検定問題を出題する予定です。</p>
<p>・検定合格者によるグループ化などにより仲間づくりを進め、さらに郷土の研究を深めるとともに、例えば歴史などの講座の講師として、その知識が地域に活かされるような仕組みづくりの検討が必要である。</p>	<p>・平成 27 年度までは検定合格者が少なかったのに、リーダーバンクや、郷土史研究グループなどへの移行が難しかったが、本年度は一般の部で 60 名弱が合格したので、郷土の歴史等を深く学び、自分なりに研究、発表できる力をつける講座を開催します。</p>	<p>・平成 29 年度は、検定合格者を対象とした「ブラッシュアップ講座」を開催し、リーダーバンクや郷土史研究グループなどへの移行を図ります。</p> <p>・ジュニアの部は、小学生が検定の学習を進めるなかで、中学生が指導者として関わる学習を予定しています。</p>

(様式)

事務事業	No.20	事務事業名： 社会教育講座事業	H28 年度決算額	2,546 千円
事業の目的	安曇野市生涯学習推進計画に基づき、健康で豊かな生涯学習社会を実現する。			
事業内容	市民大学講座（特別編 1 回・信州大学編 5 回） 学校開放講座（10 講座 75 回） 美的カレッジ（6 回） 日本語教室（原則毎週 1 回、4 会場）			
達成状況	○市民大学講座 特別編 会場：堀金総合体育館サブアリーナ 参加者 300 人 演題：「心地良い日本語」 講師：金田一 秀穂さん			
	○市民大学講座信州大学編 会場：豊科交流学習センター 参加者延べ 260 人			
	演題		講師名	
	基礎から分かる放射能・放射線		高等教育研究センター 矢部 正之 教授	
	インターネットの心理学		人文学部 佐藤 広英 准教授	
	昔話・民話のナゾを解く		教育学部 藤森 裕治 教授	
	地質探索とさぐる北アルプスの生き立ちの謎		理学部 原山 智 教授	
感染症から身を守る		医学部 金井 信一郎 助教		
○学校開放講座 参加者延べ 700 人 南安曇農業高等学校、豊科高等学校、穂高商業高等学校、明科高等学校、 豊科南中学校、穂高南小学校で実施				
○美的カレッジ（20 歳から 40 歳以下の女性対象） 延べ参加者 74 人 フラワーアレンジメント、テーブルマナー、ヨガなど 6 講座を実施				
○日本語教室 延べ 1,322 人 豊科、穂高、三郷及び堀金で原則毎週 1 回開催				
事業の課題及び方向性	広報誌やホームページへの掲載、ポスター掲示、チラシの配布などで周知を努めていますが、特に若年層への情報提供が難しい。 時代の潮流にあった事業展開をするとともに、情報伝達方法を工夫し市民の要望に応じた内容を企画します。市民大学講座など、マスコミ等で知名度がある講師や、話題の講座は、参加者が増加しました。			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施(予定)分
<p>・若い女性は、勤めとの関係で帰りが遅いなど、家庭の中で料理を教わりにくい現状がある。家庭料理教室は公民館などで行われているが、例えば季節ごとに魅力ある料理教室を開設することにより、参加者を増やす努力をしていただきたい。</p>	<p>・若者を対象とした講座に限らず、マスコミに取り上げられ知名度のある講師や、話題性のある講座は、参加者が増加した。</p> <p>・市民へのアンケートなど参考にして、事業を計画しました。</p>	<p>・昨年度まで実施した「美的カレッジ」は、参加者が一定以上増えることがなく実施はとりやめました。</p> <p>・市民大学講座(特別編)(信州大学編)の講師選定・広報に力を入れ、全市的な講座のあり方も検討します。</p>
<p>・日本語教室の参加者が増えるよう、さらなる周知も必要と考える。</p>	<p>・日本語教室の参加者は、昨年度より増加したが、景気動向により参加者は大きく左右される面もあります。</p>	

(様式)

事務事業	No.21	事務事業名： 社会教育団体への補助	H28 年度決算額	1,196 千円																																																																																				
事業の目的	予算の範囲内で補助金を交付し、社会教育事業及び生涯学習事業の推進を図る。																																																																																							
事業内容	社会教育推進事業及び芸術文化協会の運営への補助金交付																																																																																							
達成状況	<p>○安曇野市社会教育事業補助金交付要綱による社会教育団体への補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>交付先</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安曇野市連合婦人会</td> <td>90,000 円</td> </tr> <tr> <td>安曇野市太鼓連盟</td> <td>200,000 円</td> </tr> <tr> <td>安曇野市鈴虫を育てる会</td> <td>40,000 円</td> </tr> <tr> <td>安曇野市囲碁・将棋大会</td> <td>94,845 円</td> </tr> <tr> <td>芸術文化協会</td> <td>861,300 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,196,145 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>各種団体での社会教育事業及び地域芸術文化協会の運営は円滑に行われ適正に遂行されていた。</p> <p>参考：芸術文化協会の状況 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>比較 (21:28)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊科</td> <td>440</td> <td>430</td> <td>394</td> <td>374</td> <td>355</td> <td>353</td> <td>309</td> <td>281</td> <td>△159</td> </tr> <tr> <td>穂高</td> <td>742</td> <td>672</td> <td>672</td> <td>575</td> <td>548</td> <td>517</td> <td>500</td> <td>572</td> <td>△170</td> </tr> <tr> <td>三郷</td> <td>479</td> <td>467</td> <td>431</td> <td>417</td> <td>368</td> <td>361</td> <td>405</td> <td>421</td> <td>△58</td> </tr> <tr> <td>堀金</td> <td>327</td> <td>340</td> <td>293</td> <td>276</td> <td>291</td> <td>277</td> <td>280</td> <td>257</td> <td>△70</td> </tr> <tr> <td>明科</td> <td>150</td> <td>226</td> <td>218</td> <td>217</td> <td>250</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,138</td> <td>2,135</td> <td>2,008</td> <td>1,859</td> <td>1,812</td> <td>1,748</td> <td>1,734</td> <td>1,771</td> <td>△367</td> </tr> </tbody> </table>				交付先	補助金額	安曇野市連合婦人会	90,000 円	安曇野市太鼓連盟	200,000 円	安曇野市鈴虫を育てる会	40,000 円	安曇野市囲碁・将棋大会	94,845 円	芸術文化協会	861,300 円	合計	1,196,145 円	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	比較 (21:28)	豊科	440	430	394	374	355	353	309	281	△159	穂高	742	672	672	575	548	517	500	572	△170	三郷	479	467	431	417	368	361	405	421	△58	堀金	327	340	293	276	291	277	280	257	△70	明科	150	226	218	217	250	240	240	240	90	合計	2,138	2,135	2,008	1,859	1,812	1,748	1,734	1,771	△367
	交付先	補助金額																																																																																						
安曇野市連合婦人会	90,000 円																																																																																							
安曇野市太鼓連盟	200,000 円																																																																																							
安曇野市鈴虫を育てる会	40,000 円																																																																																							
安曇野市囲碁・将棋大会	94,845 円																																																																																							
芸術文化協会	861,300 円																																																																																							
合計	1,196,145 円																																																																																							
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	比較 (21:28)																																																																															
豊科	440	430	394	374	355	353	309	281	△159																																																																															
穂高	742	672	672	575	548	517	500	572	△170																																																																															
三郷	479	467	431	417	368	361	405	421	△58																																																																															
堀金	327	340	293	276	291	277	280	257	△70																																																																															
明科	150	226	218	217	250	240	240	240	90																																																																															
合計	2,138	2,135	2,008	1,859	1,812	1,748	1,734	1,771	△367																																																																															
事業の課題及び方向性	<p>交付先が、固定化しており新規事業の参入がみられない。</p> <p>社会教育事業を推進するため、要望を把握するとともに従来事業の内容精査、自立を促します。</p>																																																																																							
自己評価	C																																																																																							

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
<p>・補助金の交付先は従来から変わりがなく継続されてきていることから、この補助金の周知とともに補助目的に合致した若い世代のグループ等の掘り起こしが課題である。加えて「つながりひろがる地域づくり事業補助」との整合についても検討が必要である。</p>	<p>・平成 28 年度は芸術文化協会の総会員数が増加し、新たなグループの登録・新規会員の増加がみられました。</p> <p>・5 地域の公民館の大規模改修等がおおむね終了したことで、使用する団体の利便性が増し、芸術文化協会の活動も盛んになってきたと考えられます。</p>	<p>・平成 29 年度は、堀金公民館講堂の耐震改修が残されていますが、5 公民館が便利になったことを市民に周知し、団体の補助を積極的に進めます。</p>

(様式)

事務事業	No.22	事務事業名： 放課後・家庭教育推進事業	H28 年度決算額	8,285 千円																																																																																											
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 放課後の子どもの居場所として学校の施設を使用し、1年生から6年生までの異年齢の子どもが交じりあい、十分に遊びさらに地域の人たちと関わることで、たくましさや社会性を養う。 子どもが健やかに成長できるよう家庭教育の支援を行い、社会性のある自立した子どもを育てる。 																																																																																														
事業内容	1 放課後子ども教室推進事業 2 家庭教育支援事業																																																																																														
達成状況	1 放課後子ども教室推進事業 市内 10 小学校の施設を利用して、週 1 回の放課後子ども教室「わいわいランド」を開催しました。登録数、利用数とも昨年より減少した。 <table border="1" data-bbox="395 772 1391 1467"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>コーディネーター</th> <th>教育活動サポーター</th> <th>登録児童数</th> <th>開催日数</th> <th>延べ出席人数</th> <th>1回平均出席人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊科南</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>72</td> <td>28</td> <td>1,647</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>豊科北</td> <td>1</td> <td>13</td> <td>88</td> <td>27</td> <td>2,066</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>豊科東</td> <td>2</td> <td>12</td> <td>46</td> <td>31</td> <td>1,267</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>穂高南</td> <td>2</td> <td>19</td> <td>126</td> <td>33</td> <td>3,658</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>穂高北</td> <td>2</td> <td>21</td> <td>161</td> <td>33</td> <td>4,583</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>穂高西</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>57</td> <td>33</td> <td>1,604</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>三郷</td> <td>2</td> <td>19</td> <td>144</td> <td>34</td> <td>4,129</td> <td>121</td> </tr> <tr> <td>堀金</td> <td>3</td> <td>13</td> <td>145</td> <td>31</td> <td>3,782</td> <td>122</td> </tr> <tr> <td>明南</td> <td>2</td> <td>12</td> <td>40</td> <td>30</td> <td>1,142</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>明北</td> <td>2</td> <td>13</td> <td>38</td> <td>32</td> <td>1,108</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20</td> <td>144</td> <td>917</td> <td>312</td> <td>24,986</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>H27 年度</td> <td>21</td> <td>126</td> <td>932</td> <td>306</td> <td>25,906</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table> 2 家庭教育支援事業 家庭教育支援チーム 2 人を配置し、家庭教育に関する情報提供として「かわらばん ポケット」を年 11 回発行しました。また、子育て講演会を 2 回（参加者 1 回目 20 人、2 回目 38 人）行った。				学校名	コーディネーター	教育活動サポーター	登録児童数	開催日数	延べ出席人数	1回平均出席人数	豊科南	2	11	72	28	1,647	59	豊科北	1	13	88	27	2,066	77	豊科東	2	12	46	31	1,267	41	穂高南	2	19	126	33	3,658	111	穂高北	2	21	161	33	4,583	139	穂高西	2	11	57	33	1,604	49	三郷	2	19	144	34	4,129	121	堀金	3	13	145	31	3,782	122	明南	2	12	40	30	1,142	38	明北	2	13	38	32	1,108	35	合計	20	144	917	312	24,986	80	H27 年度	21	126	932	306	25,906	85
学校名	コーディネーター	教育活動サポーター	登録児童数	開催日数	延べ出席人数	1回平均出席人数																																																																																									
豊科南	2	11	72	28	1,647	59																																																																																									
豊科北	1	13	88	27	2,066	77																																																																																									
豊科東	2	12	46	31	1,267	41																																																																																									
穂高南	2	19	126	33	3,658	111																																																																																									
穂高北	2	21	161	33	4,583	139																																																																																									
穂高西	2	11	57	33	1,604	49																																																																																									
三郷	2	19	144	34	4,129	121																																																																																									
堀金	3	13	145	31	3,782	122																																																																																									
明南	2	12	40	30	1,142	38																																																																																									
明北	2	13	38	32	1,108	35																																																																																									
合計	20	144	917	312	24,986	80																																																																																									
H27 年度	21	126	932	306	25,906	85																																																																																									
事業の課題及び方向性	放課後子ども教室推進事業については、児童数の減少により利用者数も減少が予測されますが、今後も継続、充実を図っていきます。 家庭教育支援事業の、子育て情報誌については、見直し検討を行い廃止としました。																																																																																														
自己評価	C																																																																																														

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
・放課後、子どもたちが思い切り遊ぶ中で、上下の関係を学ぶことができる意義のある事業である。子育て講演会が行われているが、学校・PTAなどと連携を図り、参加者を増やす取り組みが必要である。	・子育て講演会は、広報をはじめ、保育園、小学校にチラシを配布の上実施しました。	・子育て講演会については、他にも講演会が開催されていることから、講演会を講座に変更して実施します。

(様式)

事務事業	No.23	事務事業名： 児童館運営事業	H28 年度決算額	178,393 千円
事業の目的	国の地域子育て支援拠点事業、放課後児童健全育成事業を推進するため、また子育て支援の充実を図るため、児童館、児童クラブの運営及び施設整備を行う。			
事業内容	市内9か所の児童館の運営、市内9か所の児童クラブの運営を、指定管理者である安曇野市社会福祉協議会に委託し、子育て支援事業、子育て相談事業、地域ふれあい事業、青少年育成事業、放課後児童健全育成事業等の事業を実施する。			
達成状況	<p>1 児童館実施事業</p> <p>(1) 子育て支援事業 「キッズパーク」、「みんなあつまれ」、「お下がり会」</p> <p>(2) 子育て相談事業 「育児相談」、「子育て勉強会」</p> <p>(3) 地域ふれあい事業 「ふれあい農園」、「地域ボランティア」「児童館祭り」</p> <p>(4) 青少年育成事業 「チャレンジタイム」、「お楽しみ企画」</p> <p>(5) 放課後児童健全育成事業 「児童クラブ」、「障がい児児童クラブ」</p> <p>2 児童館来館者数 99,816 人 (児童クラブ利用者数を含まない)</p> <p>3 児童クラブ事業</p> <p>(1) 児童クラブ定員 通年 553 人、長期 316 人、合計 869 人</p> <p>(2) 児童クラブ登録者 通年 483 人、長期 371 人、合計 854 人 (平均値)</p> <p>(3) 延べ利用者数 88,641 人 (平成 27 年度延べ利用者数 84,773 人)</p> <p>(4) 平成 29 年 4 月 1 日より、穂高西小学校内において余裕教室を利用して児童クラブが実施できるように整備を行った。</p> <p>これにより、通年利用の定員を 45 人から 85 人に増員しました。また、平成 29 年度において待機が発生しないよう南穂高児童クラブ 30 人、穂高南小児童クラブ 14 人の通年定員の拡充を図った。</p>			
事業の課題及び方向性	児童クラブは、利用児童が増えており、小学校の余裕教室等の有効活用を検討しつつ、施設整備を進め、児童クラブ定員の拡大を図って行く必要があります。			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.24	事務事業名： 中央公民館事業	H28 年度決算額	50,354 千円
事業の目的	地域の社会教育機関として、社会教育法第 20 条で定める「市民の生活文化の振興と社会福祉の増進に寄与する」ための『安曇野市公民館』の運営。			
事業内容	公民館運営審議会の運営 公民館長会の運営 安曇野市公民館大会の開催 安曇野市公民館報の発行 安曇野市総合芸術展の開催 地区公民館活動及び建設補助金の交付			
達成状況	<p>○昨年度『安曇野市公民館の理念』を制定し、地域の社会教育機関としての役割を明確にして、地域住民の交流と学習の場としてあり続けるため、館長以下職員の公民館運営方針を統一し、実践した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"><p style="text-align: center;">—安曇野市公民館の理念（平成 27 年 10 月 26 日制定）—</p><ol style="list-style-type: none">1 地域づくりを地区公民館とともに進めます。2 地域のつなぎ役として、各種団体と連携し交流を進めます。3 事業の継続性を大事にしながら、時代に即したものに発展させます。4 市民に最も身近な生涯学習活動の場を提供します。</div> <p>○「安曇野市公民館大会」を 5 月 15 日に開催し、約 310 人が参加しました。功労者・地区公民館報表彰、事例発表を島新田地区公民館が、また「ムラの生活と伝統文化の継承」と題して、安茂里公民館の宮下健司館長による講演を行った。</p> <p>○安曇野市公民館報は市民 4 人の編集委員の参加により、地域で活躍しているリーダーやグループ、地区公民館の活動紹介などの記事を掲載し 6 回発行した。</p> <p>○「安曇野市総合芸術展」を 3 月 3 日から 22 日にかけて豊科交流学習センター「きぼう」で開催し、絵画・写真・彫刻などの分野から 88 点を展示し、観覧者数は延べ 1,069 人であった。</p> <p>○地区公民館活動補助金として 98 地区公民館へ計 31,804,578 円と地区公民館建設補助金を 3 地区公民館に計 17,201,040 円の補助を行い、地区公民館を支援した。</p>			
事業の課題及び方向性	公民館は、地域づくりを担うとともに市民の生涯学習の場を一層提供する必要があります。 制定した「安曇野市公民館の理念」の下、公民館の運営は時代に即した展開を具体的に図ります。			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施(予定)分
<p>・公民館は、地域住民にとって一番身近な場所だと思う。安曇野市公民館の掲げる理念に基づいて、サービス面も含め、「行きやすい、入りやすい環境」を整えていただきたい。講座もより魅力を高めるため、一層吟味してほしい。</p>	<p>・各地域の公民館講座は、身近に施設があり、市民の要望を反映しやすい環境にあります。広報を工夫し、参加しやすい、子どもから大人まで興味をもてる講座を計画しました。</p>	<p>・公民館が求められていることに、市民の拠り所となり、地域の連帯・仲間づくりに発展する生涯学習活動が求められています。よって、今後も、地域を深く知る学習、時代に即した学習などを展開します。</p>
<p>・生涯学習を推進するためにも、安曇野市総合芸術展へ、より多くの人に訪れていただけるよう周知の仕方を工夫してほしい。</p>	<p>・今年度より第2次生涯学習推進計画策定に向け準備を開始しました。庁内会議にて各部署の具体的な取組みを洗出し、市民アンケートを実施して、公民館や生涯学習活動における市民のニーズを計画に反映します。</p>	<p>(検討中)</p>

(様式)

事務事業	No.25	事務事業名： 交流学習センター運営	H28 年度決算額	68,668 千円
事業の目的	市民の「交流の場」「学習の場」、さらには地域交流の拠点として、市民が参加し活発に利用されるよう、適正かつ円滑に管理運営します。			
事業内容	図書館を核とした複合施設、安曇野市穂高交流学習センター、安曇野市豊科交流学習センター、安曇野市明科子どもと大人の交流学習施設の 3 施設の管理運営(施設管理、貸館事業、自主企画事業他)。			
達成状況	○利用状況			
		穂高交流学習センター	豊科交流学習センター	明科交流子どもと大人の交流学習施設
	稼働率 (%)	33.6	60.4	23.3
	○穂高交流学習センター事業			
	(1) 展示・催事等			
	ア 市民「コレクション」展 年4回			
	イ 演題：音をかたちに、かたちを音に」ちくちくワークショップとクラシックコンサート 参加者 67人			
	(2) コンサート等			
	ア 第6回あづみの新進音楽家公開オーディション 参加者 ジュニアの部 11組 一般の部 12組			
	イ アンサンブル藝弦コンサート 出前コンサート 述べ参加者 124人 本コンサート 参加者 149人			
	○豊科交流学習センター事業			
	(1) 講演会 演題「世界まるごと How to 国際人」 講師 ジェフ・パークランド氏 参加者 69人			
	(2) 優秀映画鑑賞推進事業「優秀映画鑑賞会」 参加者 124人			
	(3) 熊井啓 監督顕彰事業			
	ア 映画鑑賞会、講演会 映画「天平の蕨」 講演会講師 熊井明子氏			
	イ 記念館 展示「天平の蕨」			
	○明科学習館事業			
	(1) 講演会 演題「ランスさんと英語で遊ぼう！」 講師 ランス・コード氏 参加者 33人			
	(2) お楽しみ企画(学習館、図書館、児童館の3館合同企画) 演題「チェロとピアノのコンサート& 劇 北風と太陽」 述べ参加者 85人			
事業の課題及び方向性	【課題】 穂高、豊科交流学習センターにおいて、入館者数は減少となりましたが、稼働率は上がっています。 【方向性】 引き続き、ホールや学習室を多くの方にご利用いただくため、利用案内の広報とサービスの充実を図ります。			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
<p>・穂高・豊科の交流学习センターは、快適な環境の下、市民にとって身近な交流の場所となっている。ただし、明科交流学习センターは、講堂に下足では入れないなどやや不便を感じる。「きぼう」「みらい」は、市全体の方が利用しているが、明科の場合、地元利用が主であり、市全体に溶け込んでいないように感じるので、地域外から人が集まるような魅力のある取り組みが必要と考える。</p>	<p>○アンサンブル藝弦出前コンサート 開催日：8月3日(水) 参加者 52人</p> <p>○講演会 開催日：7月22日(金) 参加者 33人</p> <p>○お楽しみ企画 開催日：3月22日(水) 参加者 85人</p> <p>明科学習館の認知向上のため、児童館と共催で開催している「お楽しみ企画」でしたが、対象が児童であるため、明科地域外の参加者は少なく、また、ホールの収容人数が70名であるため、多くの方をお断りした経過があります。</p> <p>事業の見直しとともに、貸館事業の周知を図る工夫が必要であると考えられます。</p>	<p>○アンサンブル藝弦出前コンサート 開催日：8月3日(木)</p> <p>○巡回展示 内容：未定</p> <p>平成29年度では、出前コンサートや、巡回展示の充実を図るとともに、貸館事業の広報を積極的に行います。</p>

(様式)

事務事業	No.26	事務事業名： 図書館活動の推進事業	H28年度決算額	162,295千円																																																																																																						
事業の目的	市民へ質の高い情報を提供できる「学習センター」、「情報センター」、「文化センター」として多様化する市民の「学び」のニーズに応える図書館の確立を進めています。																																																																																																									
事業内容	1 新鮮な資料や最新の情報の市民への提供 2 さまざまな「学び」の場としての図書館サービスの充実 3 「地域の教育力」を高める活動の推進 4 図書館利用に障がいのある方々への支援 5 安曇野市の歴史文化の伝承 6 市民の調査・研究支援体制の強化援助																																																																																																									
達成状況	1 図書館基本計画（平成21年9月策定）のサービス目標値と平成28年度末の状況 (1) 全館 <table border="1" data-bbox="459 896 1390 1115"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>個人登録率</th> <th>市民1人あたりの貸出点数</th> <th>団体登録数</th> <th>蔵書総点数</th> <th>年間利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>39.5%</td> <td>5.6</td> <td>150</td> <td>400,000</td> <td>280,000</td> </tr> <tr> <td>H28年度末</td> <td>43.6%</td> <td>8.0</td> <td>221</td> <td>396,562</td> <td>207,040</td> </tr> </tbody> </table> (2) 館別 <table border="1" data-bbox="459 1205 1390 1915"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>個人貸出点数</th> <th>団体貸出点数</th> <th>予約件数</th> <th>レファレンスサービス件数</th> <th>総蔵書点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中央</td> <td>目標値</td> <td>215,000</td> <td>28,000</td> <td>3,800</td> <td>250</td> <td>200,000</td> </tr> <tr> <td>H28年度末</td> <td>479,103</td> <td>10,395</td> <td>12,977</td> <td>2,207</td> <td>200,341</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">豊科</td> <td>目標値</td> <td>160,000</td> <td>3,100</td> <td>3,500</td> <td>150</td> <td>65,000</td> </tr> <tr> <td>H28年度末</td> <td>155,613</td> <td>5,592</td> <td>7,655</td> <td>1,380</td> <td>81,692</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">三郷</td> <td>目標値</td> <td>86,000</td> <td>1,700</td> <td>3,200</td> <td>100</td> <td>53,000</td> </tr> <tr> <td>H28年度末</td> <td>43,824</td> <td>4,081</td> <td>3,304</td> <td>245</td> <td>35,517</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">堀金</td> <td>目標値</td> <td>45,000</td> <td>900</td> <td>2,000</td> <td>50</td> <td>41,000</td> </tr> <tr> <td>H28年度末</td> <td>56,823</td> <td>2,517</td> <td>2,468</td> <td>42</td> <td>31,783</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">明科</td> <td>目標値</td> <td>54,000</td> <td>900</td> <td>2,700</td> <td>50</td> <td>41,000</td> </tr> <tr> <td>H28年度末</td> <td>28,948</td> <td>2,559</td> <td>2,010</td> <td>595</td> <td>47,229</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合計</td> <td>目標値</td> <td>560,000</td> <td>34,600</td> <td>15,200</td> <td>600</td> <td>400,000</td> </tr> <tr> <td>H28年度末</td> <td>764,311</td> <td>25,144</td> <td>28,414</td> <td>4,469</td> <td>396,562</td> </tr> </tbody> </table> ※ 目標値は、中央・明科は、平成26年度、その他は、整備後5年以内				項目	個人登録率	市民1人あたりの貸出点数	団体登録数	蔵書総点数	年間利用者数	目標値	39.5%	5.6	150	400,000	280,000	H28年度末	43.6%	8.0	221	396,562	207,040	項目	個人貸出点数	団体貸出点数	予約件数	レファレンスサービス件数	総蔵書点数	中央	目標値	215,000	28,000	3,800	250	200,000	H28年度末	479,103	10,395	12,977	2,207	200,341	豊科	目標値	160,000	3,100	3,500	150	65,000	H28年度末	155,613	5,592	7,655	1,380	81,692	三郷	目標値	86,000	1,700	3,200	100	53,000	H28年度末	43,824	4,081	3,304	245	35,517	堀金	目標値	45,000	900	2,000	50	41,000	H28年度末	56,823	2,517	2,468	42	31,783	明科	目標値	54,000	900	2,700	50	41,000	H28年度末	28,948	2,559	2,010	595	47,229	合計	目標値	560,000	34,600	15,200	600	400,000	H28年度末	764,311	25,144	28,414	4,469	396,562
項目	個人登録率	市民1人あたりの貸出点数	団体登録数	蔵書総点数	年間利用者数																																																																																																					
目標値	39.5%	5.6	150	400,000	280,000																																																																																																					
H28年度末	43.6%	8.0	221	396,562	207,040																																																																																																					
項目	個人貸出点数	団体貸出点数	予約件数	レファレンスサービス件数	総蔵書点数																																																																																																					
中央	目標値	215,000	28,000	3,800	250	200,000																																																																																																				
	H28年度末	479,103	10,395	12,977	2,207	200,341																																																																																																				
豊科	目標値	160,000	3,100	3,500	150	65,000																																																																																																				
	H28年度末	155,613	5,592	7,655	1,380	81,692																																																																																																				
三郷	目標値	86,000	1,700	3,200	100	53,000																																																																																																				
	H28年度末	43,824	4,081	3,304	245	35,517																																																																																																				
堀金	目標値	45,000	900	2,000	50	41,000																																																																																																				
	H28年度末	56,823	2,517	2,468	42	31,783																																																																																																				
明科	目標値	54,000	900	2,700	50	41,000																																																																																																				
	H28年度末	28,948	2,559	2,010	595	47,229																																																																																																				
合計	目標値	560,000	34,600	15,200	600	400,000																																																																																																				
	H28年度末	764,311	25,144	28,414	4,469	396,562																																																																																																				

事業の課題及び方向性	<p>1 課題</p> <p>平成 21 年 9 月に中央、平成 23 年 2 月に豊科、平成 28 年 4 月に堀金、平成 30 年 3 月に三郷の各図書館の整備が終了または終了見込みであること、平成 25 年 5 月からインターネット等を利用した図書等予約サービス・蔵書検索などの機能を充実したことなどにより施設面の整備は完了します。今後は、施設整備後の図書館運営、サービス等のあり方を検討し、充実していく必要があります。</p> <p>2 方向性</p> <p>三郷・堀金館の計画的な資料の充実を図っていくとともに、少子高齢化・高度情報化等の社会の変化に対応した施設整備後の図書館サービス等を平成 29 年度に策定する第 2 次図書館基本計画の中で検討していきます。</p>
自己評価	B

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
<p>・図書館利用に障害のある方々へのサービスとして、社会福祉施設への配本や朗読者サービス（音声データの貸し出し）などが行われていることは評価できる。今後は、身体が不自由な方々からも図書館を訪れていただけるような仕組みを検討してほしい。</p>	<p>安曇養護学校の生徒さん達には、中央図書館に学校行事で年に何度かお越しいただいています。施設見学のほか、読み聞かせやホールでの映画上映などをお楽しみいただきました。</p>	<p>平成 30 年 3 月の三郷図書館の開館により、市の 5 つの図書館が障がいのある方にも安全かつ容易に利用できる施設になると考えています。 身体が不自由な方にどのようにして図書館サービスを届けるかを検討していきます。</p>
<p>・中央図書館及び豊科図書館においては、レファレンス件数の実績が目標を大幅に上回っている。今後、実績に対応できる職員体制の構築についての検討が必要である。</p>	<p>昨年 11 月 25 日、図書館協議会及び交流学習センター運営委員会の合同会議から「交流学習センター及び図書館の管理運営の方向性について」の報告書をご提出いただきました。 これを受け、現在の図書館及び交流学習センターがやるべきことは、運営、サービスの向上を図っていくためのさらなる努力が必要と考え、スキルアップ等に努めています。</p>	<p>図書館サービスにあたる図書館司書は、本市の公共図書館では、H29.4.1 現在、33 人中 31 人 94% が非常勤職員という現状です。 本市の非常勤職員等の管理マニュアルでは、通算雇用期限の上限は、資格職は 7 年としています。が、後任者の確保が困難な時は、1 年単位であらためて任用することができるとされております。 交流学習センターと図書館の管理運営のあり方については、様々な視点から、調査、研究、検討を丁寧に重ねていく必要があります。</p>
<p>・豊科図書館（豊科交流学習センター）については、駐車場が狭隘である。図書館利用者に配慮するため、行事等における駐車場の使用のあり方及び整備について検討してほしい。また、生活が多様化している中、様々な価値観に対応できるような図書館づくりを目指してほしい。</p>	<p>駐車場の使用のあり方については、きぼう、豊科近代美術館との共用となっており、本庁舎の行事も併せ込み合う日があることは事実です。 第 2 次図書館基本計画の策定のため、平成 28 年度、図書館に対する市民、利用者、小中学生のアンケートを行いました。</p>	<p>駐車場の利用の在り方については、各施設の設置者で検討していきます。 図書館づくりにつきましては、計画期間を平成 30 年度から 39 年度までとする第 2 次基本計画の中で、検討していきます。</p>

(様式)

事務事業	No.27	事務事業名： 人権教育推進事業	H28 年度決算額	2,103 千円
事業の目的	安曇野市人権教育・啓発推進計画の基本目標と基本方針に基づき、人権問題の現状と課題に対し、あらゆる場を通じた人権教育・啓発を推進する。			
事業内容	人権教育推進委員会・人権教育指導員合同会議運営 「人権のつどい」の開催 企業人権教育推進協議会の運営 地域人権教育推進協議会、学社連携事業、地区人権学習会支援			
達成状況	<p>安曇野市人権教育・啓発推進計画に基づき、人権教育の推進に向けて全市民的に啓発事業に取り組むとともに、各地域の人権教育推進協議会等と地区公民館での取り組みを推進した。</p> <p>○全市的取り組み</p> <p>学校、地域、家庭、職場が一体となった人権教育推進に向けて人権教育推進委員会小委員会、人権教育推進委員会・人権教育指導員の会の合同会議をそれぞれ2回開催し、合同会議では、研修として講演会を実施した。</p> <p>また、12月11日(日)の人権週間に人権男女共同参画課と共催で、「人権のつどい」を開催し、松本サリン事件第1通報者 河野 義行さんから「報道と人権」と題しご講演いただき、人権についてあらためて考える機会となった。</p> <p>企業人権教育推進協議会は設立7年目となり、31企業53事業所が加入している(H29.2月現在)。本年度は総会、理事会に加え、2回の啓発講演会を実施した。</p> <p>今年度の新たな取り組みとして、人権尊重作文集～kiseki～(小学3年生～中学3年生対象)を作成して、各学校(各学年に1冊)、各地区の人権教育推進委員及び指導員に1冊配付し、人権学習・研修の資料として活用した。</p> <p>○各地域の取り組み</p> <p>人権教育推進協議会の開催のほか学社連携事業として、小中学校人権教育推進協議会と連携し、地域ごとに人権教育推進委員・指導員が授業参観、講演会、懇談会などへ参加した。</p> <p>また、地区公民館での人権学習会開催を支援し、地区の現状に応じて扱いやすいテーマで98全ての地区公民館で実施されました。高齢者、女性、子どもの人権などの人権問題について幅広い学習が行われた。</p>			
事業の課題及び方向性	安曇野市人権教育・啓発推進計画の基本目標と基本方針に基づき、人権問題の現状と課題に対し、あらゆる場を通じた人権教育・啓発を継続的に推進する必要があります。			
	豊科地域で実施している人権尊重作文の作品集は、有意義であるため全市的事業として取り組みます。			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
<p>・人権教育を推進していくためにも、各地区公民館で行われている人権学習などについては、人権意識を各家庭に浸透させていくためにも効果があるので、継続的に行っていく必要がある。</p>	<p>・人権教育推進のため、人権教育推進委員会・人権教育指導員合同研修会を開催し、今年度の重点目標と、活動の要点を確認・学習した。これらを各地区の人権学習会の内容に生かしました。</p> <p>・全市的取組みで今年度より人権尊重作文集を作成することができました。今後は活用方法など検討します。</p>	<p>・人権尊重作文集～kiseki～の活用について、各地区人権学習会で積極的に取り上げたり、学校の人権学習の教材として推進します。</p> <p>・今年度の重点目標(障がい者の人権問題と同和問題)を積極的に研修課題として取り上げ、各地区公民館人権学習会を開催します。</p>

(様式)

事務事業	No.28	事務事業名： 体育団体補助	H28 年度決算額	10,600 千円
事業の目的	市民のスポーツ振興、健康体力づくりの推進、競技力向上などの活動に対する支援を目的に、体育協会（登録者：6,214人）及びスポーツ少年団（登録者：1,840人）の活動に対して助成する。			
事業内容	①体育協会に対しては対象事業費の2分の1以内で予算の範囲内の助成（6,200千円） ②スポーツ少年団に対しては対象事業費の3分の2以内で予算の範囲内の助成（4,400千円） ※何れも「安曇野市社会教育事業補助金交付要綱」による			
達成状況	<p>数値目標（安曇野市スポーツ振興計画 25 ページより） 体育協会加入者数 平成 21 年度：6,881 人 → 平成 29 年度：8,000 人 ※スポーツ少年団の目標数値はない。</p> <p>体育協会について、平成 21 年度の状況と平成 28 年度の状況を比較した場合、加入者数は減少しているが、直近の 3 ヶ年においては横這いという状況である。体育協会では、設立 10 周年を迎えた平成 28 年度に NPO 法人となったことにより、更に積極的な事業が行われているものと考えている。スポーツ離れなどが加速する中で、目標数値である 8,000 人の達成は難しいものと思われるが、市民のスポーツ振興の一翼は担っているものと考えている。</p> <p>スポーツ少年団については、近年、横這いの登録者数となっている。少子化が進む中で、団員の確保が難しい中、登録している団員数が県内で第 2 位となっていることは評価できるものと考えている。</p>			
事業の課題及び方向性	<p>体育協会については、競技力向上の観点に重点を置いた取り組みが、より一層実施されることを期待します。</p> <p>スポーツ少年団については、指導者の確保や養成などの点で課題があるものと思われます。</p>			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施(予定)分
・若い人が社会に出た後、スポーツなどの得意分野を生かして、地域の活性化に貢献できる仕組みを研究する必要がある。	・スポーツ分野だけの課題ではないため、雇用などの面を含め、他の関係する課などとも連携を図りながら、研究していく必要があるものと考えています。	・第2次安曇野市スポーツ推進計画策定委員会などで意見をお聞きするなどし、今後の方向性等を検討していきます。
・安曇野市体育協会については、市の社会体育の振興及び市民の健康増進に貢献できるような取組が求められる。	・NPO 法人化	・体育協会には、市が主体となるのが難しい 「競技力向上」の観点に重点を置いた事業の展開を検討していただくよう、依頼していきたいと考えています。

(様式)

事務事業	No.29	事務事業名： 市民スポーツ祭	H28 年度決算額	1,242 千円
事業の目的	市民スポーツ祭に必要な準備と円滑な運営を行うことを目的として、実行委員会に委託する。			
事業内容	17 の種目別競技会と総合開会式（及びスポーツ交流会、体力測定）の開催			
達成状況	<p>平成 28 年度で第 7 回目の開催となった。</p> <p>17 の種目別競技会（6～12 月）には、2,356 人の参加があった。また、総合開会式（6 月 26 日）には約 300 人の参加があり、希望者は開会式終了後にスポーツ交流会や体力測定を行った。</p> <p>※目標数値等はない。</p> <p>※例年、種目別競技会の参加者は 2,500 人前後で推移している。</p>			
事業の課題及び方向性	<p>平成 28 年度で第 7 回目となったが、総合開会式のあり方（内容のマンネリ化）や 17 種目の種目別競技会が半年間に亘って開催されていることなど、改善を要望する声があがっています。新たな試みなどに着手（平成 28 年度は市歌斉唱と市歌体操を実施）し、より多くの方々が参加できるようにしていくことが望まれます。</p> <p>また、平成 31 年度には第 10 回目の区切りの開催となるため、何らかの記念事業の開催（著名人の講演会の開催など）についても検討していく必要があるものと考えています。</p>			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
・大勢のスポーツ愛好家が集まる「総合開会式」においては、健康増進に資するような新たな企画を検討する必要がある。	・総合開会式の際に、市歌体操の実演を行いました。	・同左 ・今後の実行委員会の中での協議事項として、内容を検討していきます。

(様式)

事務事業	No.30	事務事業名： 公式スポーツ施設整備計画策定 (H26～H27)	H28 年度決算額	0 千円 (H27-786 千円)
事業の目的	平成 27 年度に事業は完了しました。 安曇野市公式スポーツ施設整備計画は、平成 23 年度に策定された、スポーツ振興計画における施策のひとつである「公共スポーツ施設の整備・充実」を具体化することを目的に検討されたものです。			
事業内容	この計画では、安曇野地域合併協議会の合意項目にも上げられ、新市で調整することとなっていた豊科南部総合公園屋内運動施設や「公共施設白書」(平成 25 年度)に盛り込まれている公共施設の統合・再整理等を検討する中で、市内だけでなく市外や県外からの利用を想定し、規模の大きな大会にも利用が可能となる施設の整備を重点に計画を取りまとめた。			
達成状況	<p>計画の策定にあたり、平成 26 年 10 月に「公式スポーツ施設整備計画策定委員会」を設置し、委員から専門的な立場で計画の策定に係る提言をいただき、その案を基に平成 27 年 6 月、「安曇野市公式スポーツ施設整備計画」を策定した。なお、庁内においては、関係部署による庁内会議、スポーツに精通する職員による作業部会を設置し、調査、研究を重ねた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・策定委員会 6 回開催 ・庁内会議 3 回開催 (合同会議を含む) ・作業部会 6 回開催 (合同会議を含む) <p>この計画においては、新規施設の整備の緊急性と必要性を整理し、実施に向けた優先順位を検討した。新規の施設整備として優先するのは体育館と野球場であるが、テニスコート、陸上競技練習機能施設については拠点化施設の整備に合わせて、サッカー場については現存施設の機能強化として整備することとした。</p>			
事業の課題及び方向性	<p>平成 27 年 10 月に「公式スポーツ施設整備推進庁内プロジェクトチーム」を設置し、計画に掲げた施設の早期整備を図っていますが、計画の実現に向けては次のような条件があげられています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財源の確保 ・早期整備候補施設の整備位置の特定 ・法規制への対応 (都市公園法と公園施設、農地法と用地) ・施設の統廃合への配慮 ・関係者・地元等の合意形成 ・整備スケジュールの具体化 <p>また、平成 29 年 1 月に、「新総合体育館整備基本計画」を策定しました。</p>			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施(予定)分
・整備計画の策定にあたり、庁内の関係部署により横断的な検討を行うためのプロジェクトチームを設置したことは評価できる。市民の健康長寿につなげるため、広く市民がスポーツに親しみやすく、行きやすいスポーツ施設づくりを念頭に計画を策定していただきたい。	平成 29 年 1 月に策定した基本計画の中で、新総合体育館のテーマを「する・見る・支える」、「市民交流」、「健康長寿」、「安全・安心」の 4 つをキーワードとして構成することとしております。	新総合体育館のテーマとした 4 つのキーワードを踏まえて、基本設計を取りまとめます。

(様式)

事務事業	No.31	事務事業名： 新総合体育館建設事業 (H28～H32)	H28 年度決算額	9,230 千円
事業の目的	<p>安曇野地域合併協議会の合意項目にも上げられ、新市で調整することとなっていた、豊科南部総合公園屋内運動施設や「公共施設白書」に盛り込まれている公共施設の統合・再整理等を検討する中で、市内だけでなく市外や県外からの利用を想定し、規模の大きな大会にも利用が可能となる施設の整備を重点に、平成 27 年 6 月に「公式スポーツ施設整備計画」を策定した。</p> <p>この計画の趣旨及び基本方針を基に、豊科南部総合公園に新総合体育館を、合併特例債の期限である平成 32 年度までに整備する事を目的とした事業である。</p>			
事業内容	<p>事業を推進するため、庁内横断組織として平成 27 年 10 月に設置した「公式スポーツ施設整備推進庁内プロジェクトチーム」で調査・研究を重ね、「新総合体育館整備基本計画」を策定した。</p> <p>平成 28 年 7～8 月 新総合体育館整備に関する市民説明会 11 月 新総合体育館整備基本計画（案）市民説明会 11 月～12 月 パブリックコメントを実施（意見提出者は 32 名） 平成 29 年 1 月 市議会より「安曇野市新総合体育館建設について（提言）」が市長あてに提出された。</p>			
達成状況	<p>平成 29 年 1 月に「新総合体育館整備基本計画」を策定した。</p> <p>体育館施設の計画概要</p> <p>施設規模 : 延床面積 約 7,300 m² メインアリーナ : バレーボール又はバスケットボールの公式コート 2 面 サブアリーナ : バレーボール又はバスケットボールのコート 1 面 柔剣道場 : 競技スペース 2 面 トレーニング室 : 軽スポーツやダンス等、多目的な用途に対応できる施設 付帯施設 : シャワー室、会議室、事務室、放送室、エレベーター等</p>			
事業の課題及び方向性	<p>計画の実現に向けては、次のような点が重点項目となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に親しまれ、多くの人に利用いただけるような体育館を建設すること。 ・スポーツだけでなく、市民交流、健康長寿、防災などの利活用。 ・合併特例債の発行期限である平成 32 年度末までに事業を完了すること ・財源の確保 ・法規制への対応(都市計画法、都市公園法、農地法等) ・関係者・地元等の合意形成 ・拡張用地取得 <p>平成 29 年度中に「新総合体育館建設企基本設計」を取りまとめる。</p>			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.32	事務事業名： スポーツ振興事業	H28 年度決算額	7,245 千円
事業の目的	<p>運動をするきっかけづくりのための教室やその後の継続性を高めるためのサークル化に向けた支援などを行い、スポーツ実施率*の向上を目指す。</p> <p>また、幼児期の体力向上に向けた取り組みとして、市内保育園の13園に講師を派遣し、コーディネーショントレーニングを行う。</p> <p>※スポーツ実施率：過去1年間に週に1回以上、運動・スポーツを行った成人の割合</p>			
事業内容	<p>①子どもや親子を対象にした教室を開催 (親子体操教室、親子ウキウキ体操教室、わんぱくGYM、コーディネーションキッズ教室・学ぶ会・幼保派遣事業、アーチェリー、ランニングクリニック)</p> <p>②成人を対象にした教室を開催 (ランニングクリニック、エアロピクス系の教室、ニュースポーツ、ウォーキング、ウェープリングストレッチ、ポールウォーキング など)</p>			
達成状況	<p>上記で定員数1,810人の教室を開催し、延べ12,887人の参加があった。平成26年度から教室数と定員数を増やしており、参加人数は3年前と比較して大幅に増加している。</p> <p>全教室の平均出席率は約79%となっており、前年度から4%程度上昇している。また、全教室でアンケートを実施して、参加者の動向を把握し、次年度の計画に役立てている。</p> <p>数値目標 (安曇野市スポーツ振興計画 25 ページより)</p> <p>スポーツ実施率 平成21年度：26.8% → 平成29年度目標値：50.0%</p> <p>※平成29年2月に実施した市民アンケート結果では、32.5%という結果であった。目標値には届かない状況ですが、近年の生涯学習課の取り組みなどが一定の成果を上げているものと考えている。</p>			
事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が低い教室を廃止し、アンケートなどで希望の多かったものなどを積極的に導入した結果、定員数を超える申込があるなど、市民ニーズにあった教室の開催ができつつあると考えています。(現在の職員体制では、これ以上、教室数を増やすことが難しいため、内容の充実を図っていく方向性となります) ・教室に参加した方が、教室終了後に継続して運動を続けることが理想であるが、その動向調査等は実施していないため、詳細が分からない状況です。 ・市内にはトレーニングジムが少ない。市民の要望の中に、個人が好きな時間に来てトレーニングができるスペースを確保してほしい、との要望もあります。 			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施(予定)分
<p>・一般の人が使える健康器具を活用したトレーニング室の設置については、指導者の課題もあるが、市民の健康長寿及び市民の交流の場として有効であると考えるので、適切な場所への設置について研究する必要がある。</p>	<p>新総合体育館の建設時にトレーニング室の設置ができるか検討しています。</p>	<p>同左 ※平成 30 年 1 月に基本設計が完成予定のため、それ以降、より具体化していく見込みです。</p>

(様式)

事務事業	No.33	事務事業名： 文化芸術振興事業	H28 年度決算額	3,670 千円
事業の目的	子供や高齢者、障がいのある人など、全ての市民がすぐれた文化芸術に接することができるよう、展覧会やコンサートなどの内容を充実するとともに鑑賞しやすい環境づくりを進める。 市民の文化芸術活動が、文化芸術を受容鑑賞するだけでなく、搜索や発表へと発展し自己実現を図ることができる環境づくりを推進する。			
事業内容	「文化振興計画」に掲げられた諸施策の実現に向け諸事業を実施した。 (1) 東京藝術大学との交流事業の開催 第1回：6月4日(土) 第2回：11月5日(土)・6日(日) 第3回：2月4日(土)・5日(日) 小中学校合同吹奏楽祭：10月8日(土) (2) 能楽教室の開催 6月28日(火)：豊科南中学校 6月29日(水)：豊科南小学校 (3) 文化講演会の開催 テーマ「福岡ハカセの生き物バナシ」 (講師：福岡伸一氏) 3月4日(土) (4) 昔の暮らし体験教室の開催 市内小学校の3年生を対象とした出前講座。穂高郷土資料館で所蔵している民俗資料に触れて使い方を体験してもらう。 期間 1月～2月(市内10校)			
達成状況	(1) 東京藝術大学との交流事業 参加生徒数 331人(目標150人) 合同コンサート来場者数 327人(目標400人) 小中学校合同吹奏楽祭：827人 (2) 能楽教室 鑑賞者数 733人 (3) 文化講演会 来場者数 315人 (4) 昔の暮らし体験教室の開催 833人			
事業の課題及び方向性	平成30年度に計画期間が始まる「第2次安曇野市文化振興計画」策定に当たっては、現行の「安曇野市文化振興計画」の事業結果と現況とのすり合わせを行い、事業実施の改善にむけて、長期目標を定めたいと考えています。			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.34	事務事業名：諸団体との協働事業	H28 年度決算額	9,968 千円
事業の目的	安曇野の風土と先人たちの営みによって培われ育まれてきた文化を土台に、新たな安曇野の文化、個性あふれる魅力的な文化を創造していくために、必要な環境の整備と文化を支える協働の仕組みづくりを推進する。			
事業内容	<p>諸団体への補助、協働による事業実施などを通じて、市民が多様な文化芸術に親しむ機会を創出し、豊かで潤いある市民生活の実現を目指した。</p> <p>(1) 第 17 回安曇野紙ヒコーキ競技大会 4 月 10 日(日) 報償費：63,721 円 (2) 第 12 回あづみの公園早春賦音楽祭 5 月 4 日(水) 補助金：2,000,000 円 (3) 第 53 回童謡まつり 5 月 5 日(木) 補助金：500,000 円 (4) 第 26 回信州安曇野能楽鑑賞会 8 月 20 日(土) 補助金：3,900,000 円 (5) 『安曇野文化』刊行 第 19 号～22 号発行 補助金：1,900,000 円 (6) 美術館博物館連携事業 ア 美術館等連携事業印刷物等作成・年間行事予定表デザイン印刷業務委託料 136,620 円 イ スタンプラリー・ギャラリートークリレー・学校ミュージアムほか 学校ミュージアム 1 月 19 日(木)：穂高西小学校 1 月 26 日(木)：豊科北中学校 (7) 映像史料保存活用事業(あづみのフィルムアーカイブ)：496,800 円 ア 市民団体と協働し、各家庭に眠る昭和 50 年代前半までの 8 mm フィルムを収集し、電子データ化を行ない保存・活用を図る。 イ 出前講座として『よみがえる安曇野』の上映会の開催 (8) 安曇野市民家調査報告書作成(信州大学工学部)：971,568 円 ア 特徴的な古民家(種別ごと)の間取り等調査と、文化的景観に立った集落形成等の変遷に関する調査。</p>			
達成状況	<p>諸団体との協働事業</p> <p>(1) 第 17 回安曇野紙ヒコーキ競技大会 参加者数 60 人 (2) 第 12 回あづみの公園早春賦音楽祭 来場者数 15,114 人 (3) 第 53 回童謡まつり 来場者数 550 人 (4) 第 26 回信州安曇野能楽鑑賞会 来場者数 565 人 (5) 『安曇野文化』刊行 第 19 号～22 号発行 (6) 美術館博物館連携事業 ア 美術館等連携事業印刷物等作成 市立美術館・博物館の年間行事予定一覧表を全校児童・生徒に配布。 イ ギャラリートークリレー・学校ミュージアム・外国語パンフレットの発行ほか、文化庁の補助金を得て、市内公私立の美術館博物館で実行委員会を組織して諸事業を実施。児童の利用促進に結び付けることができた。 計 2,127 人 (7) 映像史料保存活用事業(あづみのフィルムアーカイブ) (デジタル化した 8 mm 37 本)</p>			

	<p>ア 『よみがえる安曇野』上映回数 20ヶ所 上映会来場者延べ約 1000 人</p> <p>(8) 安曇野市民家調査報告書作成 (信州大学工学部)</p> <p>ア 平成 24～26 年に実施した安曇野民家調査の総括として実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特徴的な古民家(種別ごと)の間取り等詳細調査。 <p>本棟 4 直屋 1 茅葺 2 町屋 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本棟、直屋、茅葺等の古民家が点在する「豊科高家飯田地区」の民家調査と、文化的景観に立った集落形成等の変遷に関する調査。
事業の課題及び方向性	各事業とも、合併以前より各町村が行ってきた文化事業を継続して行っており、マンネリ傾向にあります。「信州安曇野薪能事業」は会場となる龍門淵公園周辺の整備工事に伴い、数年にわたり同会場での事業実施が困難な見込みです。
自己評価	B

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
<p>・あづみのフィルムアーカイブ事業により作成された昭和 50 年代前半までの 8 mm フィルムの CD 化は地域の歴史を知る上で貴重な記録であり、意義深い事業である。上映会や CD の貸し出しも行われているが、定期的な上映会の開催や「出前講座」による上映が可能であることを市民に周知するとともに、市の様々なイベントで活用してほしい。また、CD の販売についても検討してほしい。</p>	<p>・市制施行 10 周年記念事業として市民協働で制作した「よみがえる安曇野」は、H28 年度は、出前講座メニューとして、市内の地区社協、地区公民館、福祉関係団体他 20 ヶ所で上映会を実施しました。視聴者は延べ 1000 人を超え大変好評でした。また、市の公民館大会でも、開会までの待ち時間等でも上映しました。</p> <p>販売については検討中。</p>	<p>・昨年に引き続き、出前講座メニューとして上映会を実施する。また、短縮版を市役所 1 階ホールで上映する予定。</p> <p>・市民協働事業として、H28 年度にデジタル化を行った 8 mm フィルムと、H29 年度新たに提供される 8 mm フィルムで「よみがえる安曇野Ⅱ」の制作を行います。出来上がった作品の上映会は 3 月末を予定。</p>
<p>・薪能の運営にあたっては、市民の協力が重要なことは理解できるが、チケットの販売方法などについて、協力者に過度な負担がかからない方法を検討してほしい。</p>	<p>インターネットを活用した販売を実施。県内業者に委託するが効果が得られませんでした。</p>	<p>インターネットを活用した大手チケット販売サービスを利用。個人のパソコンで購入可能であり、また全国のファミリーマートで購入可能とした。チケット販売の利便性を図っています。</p>
<p>・市内公私立の美術館博物館が連携して行うスタンプラリー・ギャラリートークラリー・学校ミュージアム等は、市民の観覧意欲を喚起する取り組みであり、評価できる。</p>	<p>継続して実施。28 年度はスタンプラリーをやめ、各施設の外国語対応のパンフレットを連携して発行。学校ミュージアムに加え、デイサービスセンターでも出前展示を実施。</p>	<p>継続して実施。外国語パンフレットの制作を完了し、夏季に子ども対象のワークショップを各館と連携し実施。</p>

(様式)

事務事業	No.35	事務事業名： 財政支援団体への補助	H28 年度決算額	7,770 千円
事業の目的	<p>安曇野の風土と先人たちの営みによって培われ育まれてきた文化を土台に、新たな安曇野の文化、個性あふれる魅力的な文化を創造していくために、必要な環境の整備と文化を支える協働の仕組みづくりを推進する。</p> <p>安曇野市の文化振興の一翼を担う組織として、市が出捐する公益財団法人安曇野文化財団の自主事業の充実を図る。</p>			
事業内容	<p>財政支援団体への補助金交付</p> <p>(1) 公益財団法人安曇野文化財団運営補助 補助金：5,630,000 円</p> <p>(2) 一般財団法人井口喜源治記念館運営補助 補助金：1,140,000 円</p> <p>(3) 田淵行男賞写真作品公募事業補助 補助金：1,000,000 円</p>			
達成状況	<p>1 財政支援団体の活動状況</p> <p>(1) 公益財団法人安曇野文化財団運営補助 生活工芸品の管理・活用、財団の管理運営（事務局業務）を実施した。</p> <p>(2) 一般財団法人井口喜源治記念館運営補助 井口喜源治の遺産を大切に保管・管理し、各種事業を実施した。</p> <p>(3) 田淵行男賞写真作品公募事業補助 事業を通して田淵行男及び施設の周知ができた。</p>			
事業の課題及び方向性	<p>財政支援団体の活動にあたっては、事業内容に合った適正な補助金額の支出が必要。事業実施にあたって、各団体と連絡を密にし、効果的な事業推進を図ります。</p>			
自己評価	B			

※表の行の高さは自由に調整してください。

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
<p>・豊科近代美術館の収蔵されている中世の西洋家具等について、市としても適切な管理のための支援を行う必要がある。また、展示室で公開するなど一層の有効活用を図ってほしい。</p>	<p>豊科近代美術館の外収蔵庫を改修し、公開収蔵庫として利用。西洋中世家具等の常設展示を開始。公開にあたっては、有識者に資料の鑑定・評価を実施しています。また、美術館職員による資料の修復作業を実施し、保管につとめ、公開準備を進めています。</p> <p>保管・展示にあたっては補助金を交付。</p>	<p>継続して実施。</p> <p>修復・展示の更新作業を続けている。</p> <p>保管・展示にあたっては補助金を交付。</p>

(様式)

事務事業	No.36	事務事業名： 博物館・美術館等の管理運営	H28 年度決算額	86,328 千円																																								
事業の目的	市民ニーズに沿い、各施設の個性や特徴を活かした魅力ある企画を実現できるよう、利用形態や運営方針の改善に努めるほか、施設間の連携強化を図る。 市民が幅広く文化の魅力を理解し、豊かな感性や想像力を養うことができるように、学習・体験機会の充実を図る。																																											
事業内容	<p>1. 豊科近代美術館・田淵行男記念館・飯沼飛行士記念館・穂高陶芸会館・臼井吉見文学館・高橋節郎記念美術館・豊科郷土博物館・貞享義民記念館・穂高郷土資料館の管理運営を行う。</p> <p>2. 博物館・美術館等の管理運営、資料の収集については下記で審議。</p> <p>(1) 博物館協議会 登録博物館 4 館及び類似施設 5 館の管理運営状況等について協議。全 3 回</p> <p>(2) 美術資料等選定委員会：美術資料の収集について協議。全 2 回</p> <p>3. 「新市立博物館構想」を策定し、今後の安曇野市の博物館等の方向性を規定。</p>																																											
達成状況	<p>1. 博物館等の運営状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>運営</th> <th>指定管理料</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊科近代美術館</td> <td>(公財)安曇野文</td> <td>34,018,000 円</td> <td>23,826 人</td> </tr> <tr> <td>田淵行男記念館</td> <td>化財団</td> <td>18,079,000 円</td> <td>10,790 人</td> </tr> <tr> <td>飯沼飛行士記念館</td> <td></td> <td>2,244,000 円</td> <td>604 人</td> </tr> <tr> <td>穂高陶芸会館</td> <td></td> <td>6,993,000 円</td> <td>2,278 人</td> </tr> <tr> <td>臼井吉見文学館</td> <td>ほたるぶくろの会</td> <td>2,185,000 円</td> <td>625 人</td> </tr> <tr> <td>高橋節郎記念美術館</td> <td>直営</td> <td>-</td> <td>14,335 人</td> </tr> <tr> <td>豊科郷土博物館</td> <td>直営</td> <td>-</td> <td>17,149 人</td> </tr> <tr> <td>貞享義民記念館</td> <td>直営</td> <td>-</td> <td>7,012 人</td> </tr> <tr> <td>穂高郷土資料館</td> <td>直営</td> <td>-</td> <td>1,180 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 目標数値等</p> <p>(1) 高橋節郎記念美術館 貸出施設（主屋・南の蔵）の稼働率（年間実使用時間／使用可能時間）：66.9%</p> <p>(2) 貞享義民記念館 貸出施設（企画展示室）の稼働率（年間実使用日数／使用可能日数）：87.58% 貸出施設（研修室）の稼働率（年間実使用時間／使用可能時間）：10.89%</p>				施設名	運営	指定管理料	入館者数	豊科近代美術館	(公財)安曇野文	34,018,000 円	23,826 人	田淵行男記念館	化財団	18,079,000 円	10,790 人	飯沼飛行士記念館		2,244,000 円	604 人	穂高陶芸会館		6,993,000 円	2,278 人	臼井吉見文学館	ほたるぶくろの会	2,185,000 円	625 人	高橋節郎記念美術館	直営	-	14,335 人	豊科郷土博物館	直営	-	17,149 人	貞享義民記念館	直営	-	7,012 人	穂高郷土資料館	直営	-	1,180 人
施設名	運営	指定管理料	入館者数																																									
豊科近代美術館	(公財)安曇野文	34,018,000 円	23,826 人																																									
田淵行男記念館	化財団	18,079,000 円	10,790 人																																									
飯沼飛行士記念館		2,244,000 円	604 人																																									
穂高陶芸会館		6,993,000 円	2,278 人																																									
臼井吉見文学館	ほたるぶくろの会	2,185,000 円	625 人																																									
高橋節郎記念美術館	直営	-	14,335 人																																									
豊科郷土博物館	直営	-	17,149 人																																									
貞享義民記念館	直営	-	7,012 人																																									
穂高郷土資料館	直営	-	1,180 人																																									
事業の課題及び方向性	「新市立博物館構想」に基づき、一部の施設の統廃合について検討したいと考えます。歴史的な価値のある公文書や、古文書の収集・整理を引き続き実施、蓄積された貴重な資料を有効に活用するために、文書館の開館を目指したいと考えています。																																											
自己評価	B																																											

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である

○学識経験者からの当該事務事業に対する意見・要望等への回答

学識経験者による意見・要望 (平成 27 年度事業分)	左記の意見・要望に係る実施状況又は考え方等	
	H28 年度実施分	H29 年度実施 (予定) 分
<p>・豊科郷土博物館は、施設の目的を理解し魅力ある企画・展示を行うなど、職員はよく努力されている。この施設が未来につながっていくようにしてもらいたい。</p>	<p>・「安曇野 人の人生 大人=一人前になるってどんなこと？」や県立歴史館・県埋分センターと共催による巡回展、連携講座等、年間を通じて様々な実施しました。</p>	<p>・「安曇野 人の人生 II 結構式は誰のため？」や県立歴史館・県埋分センターと共催による巡回展等を継続して実施予定。</p>
<p>・貴重な歴史資料を未来へつなげていくためにも、市民が納得し、市民が誇れるような新博物館の整備が必要である。新たな博物館を拠点に、地域住民の交流・学習の輪が広がり、文化活動がさらに盛り上がっていくことが期待できる。</p>	<p>・特に出前展示(コンパクト展示)を精力的に企画制作し、関係施設との連携のもと実施しました。</p>	<p>・本庁舎での継続展示と各学校への巡回展示は、今後の博物館構想につながる業務として継続。</p>

報告第2号	教育部 各課
平成29年7月24日提出	

タイトル	安曇野市議会 平成29年6月定例会の結果について
要旨	安曇野市議会6月定例会の結果について報告するものです。
1 会期等について	6月1日(木)～6月26日(月)
2 一般質問	6月13日(火)、14日(水)、15日(木) 3日間
議員名	教育委員会関係質問内容(概要)
山田 幸与議員	(1) 学校教育の現状と課題 (2) 市の教育方針 (3) 市の目指す教育について ・地域で活動する人材育成と産業振興、就労について (4) 学校指導を行う組織体制について ・教育指導室の独立性確保
小松 芳樹議員	(1) 市独自の入学準備金について ・制度利用のための要件緩和の考えは (2) 「ランドセル等新入学児童生徒学用品費」の入学前支給を可能にするための対応について (3) 私立高校へ通う保護者支援は ・現行の支給額引き上げの可能性は
竹内 秀太郎議員	(1) 市民の運動習慣について ・国・県と比較して安曇野市の実態及び健康との関係
藤原 陽子議員	(1) 子どもの貧困対策について ・「子どもの健康・生活実態調査」の実施の必要性について
松澤 好哲議員	(1) 拾ヶ堰世界遺産と今後の展望 ・子育てと教育・歴史展示・普及行事等、外に向けて発信 (2) 安心して幸せな顔が見える市政 ・人間としての成長と豊かな心、学ぶ学校
平林 徳子議員	(1) 小学校施設整備等について(三郷小学校を例として) ・教室の配置や面積 ・ランドセルのロッカーの安全性について ・物置等の管理 (2) 給食無償化などの研究について
猪狩 久美子議員	(1) 市民の暮らしにどう向き合うか ・総合体育館建設に対して批判の声があることについて

議員名	教育委員会関係質問内容(概要)
平林 明議員	(1) 安曇野を世界級リゾートに ・芸術・文化の薫り高いエリアに (2) 全国高校総合文化祭「信州総文祭」に向けての取り組み状況
増田 望三郎議員	(1) 南部総合体育館整備計画の進捗と課題 ・整備計画の進捗状況 ・プロポーザルの応募状況 ・社会資本整備総合交付金 ・工事費用の増額の可能性
井出 勝正議員	(1) 「共謀罪」は市民の安心安全、いのちと平和をまもるのか ・「教育勅語」は学校教育にふさわしいものなのか ・武道に「銃剣道」は適切か ・安曇野地域の「2・4事件」の顕彰や展示をすべきではないか
林 孝彦議員	(1) 出産支援、子育て支援の促進について ・子どもの貧困対策 ・学校給食の無償化の検討の提案、現状と実現に向けた取組み
召田 義人議員	(1) 次代を担う人づくりの推進 ・いじめ対策、不登校対策の現在の状況 ・子どものスマホ利用のルールの指導 ・学校での道徳教育の内容 (2) 学校教育の推進 ・市内中学校の統一テストの実施 ・学校におけるクラス替えの基準と学級担任の決め方 ・地域と学校の連携 (3) 学校施設の整備 ・トイレの洋式化、エアコン設置
藤原 正三議員	(1) 新体育館建設と維持管理
荻原 勝昭議員	(1) 市民サービスの質について ・図書館司書の専門性の育成

3 市議会福祉教育委員会 6月19日(月)

【説明事項】

- (1) 新総合体育館整備の状況について
- (2) 平成29年度「日本遺産」の認定結果について

4 議案等の審査結果について(教育委員会関係)

以下の議案(関連議案含む)については、原案どおり可決されました。

- (1) 報告第12号 専決処分の承認を求めることについて(平成28年度安曇野市一般会計補正予算(専決第1号))
- (2) 議案第52号 平成29年度安曇野市一般会計補正予算(第2号)

報告第3号	教育部 学校教育課
平成29年7月24日提出	課長 鎌崎 孝善 (担当係長) 宮澤 慎二

タイトル	平成28年度学校給食費会計監査報告について
報告を要する事項の内容	平成28年度学校給食費会計の監査報告
要旨	平成28年度学校給食費会計の報告と監査結果について報告するものです。
説明	<p>6月30日に、平成28年度学校給食費会計についての監査を実施し、7月7日の本年度第2回学校給食センター運営委員会に於いて28年度の決算の報告をおこないました。</p> <p>昨年度から、外部機関(会計事務所)から、資料作成補助と監査実施時に助言を受けることにより、監査時の監事の負担軽減を図りました。</p> <p>帳票類については、会計事務所からの指導により、昨年度指摘された箇所等がきちんと整備されていて、適正に処理をされているとの講評を受けました。</p> <p>監査にあられた監事からも帳票類については、よく整備されているとの評価を受けました。</p> <p>事業費としては、4センター合計で5億1千万円余の予算執行となりました。</p> <p>また、監査・運営委員会とも、給食費の滞納について、現年度の滞納を増やさない方策についての意見が出されました。</p>

平成28年度

安曇野市学校給食費会計決算書

北部学校給食センター
堀金学校給食センター
中部学校給食センター
南部学校給食センター

平成29年7月
学校教育課

平成28年度 安曇野市学校給食費会計決算総括表

歳入合計額	514,865,289 円
歳出合計額	512,799,247 円
差引残額	2,066,042 円

【歳入】

(単位：円)

		北部学校給食センター	堀金学校給食センター	中部学校給食センター	南部学校給食センター	合計
給食費	現年度	171,126,793	58,675,183	141,425,042	139,508,425	510,735,443
	過年度	511,394	73,800	185,341	277,656	1,048,191
雑収入		256	90	223	192	761
繰越金		640,699	659,840	1,380,897	399,458	3,080,894
歳入合計		172,279,142	59,408,913	142,991,503	140,185,731	514,865,289

【歳出】

(単位：円)

		北部学校給食センター	堀金学校給食センター	中部学校給食センター	南部学校給食センター	合計
主食費	米飯	12,787,280	3,746,900	8,200,962	7,982,604	32,717,746
	パン	4,089,092	1,362,662	4,266,510	4,032,476	13,750,740
	麺	2,702,365	991,152	2,631,132	3,126,178	9,450,827
	牛乳	29,662,320	10,172,084	23,838,793	24,381,095	88,054,292
副食費		116,647,426	41,454,538	98,746,069	95,686,648	352,534,681
還付金		5,706,078	1,584,642	4,554,104	4,446,137	16,290,961
手数料		0	0	0	0	0
歳出合計		171,594,561	59,311,978	142,237,570	139,655,138	512,799,247

【滞納額・収納率】

(単位：円)

		北部学校給食センター	堀金学校給食センター	中部学校給食センター	南部学校給食センター	合計
現年度		630,769	133,424	368,236	197,486	1,329,915
過年度		502,906	223,152	1,333,871	884,432	2,944,361
滞納額合計		1,133,675	356,576	1,702,107	1,081,918	4,274,276
給食費 収納率	全体	99.34%	99.40%	98.81%	99.23%	99.17%
	現年度	99.63%	99.77%	99.74%	99.86%	99.74%
	過年度	50.42%	24.85%	12.20%	23.89%	26.25%

平成28年度 安曇野市北部学校給食センター給食費会計歳入歳出決算書

歳入決算額 172,279,142 円
 歳出決算額 171,594,561 円
 差引残額 684,581 円

1 歳入

(単位：円)

科 目			予算額	調定額	収入済額	収入未済額	予算との比較	備考
款	項	目						
1	給食費		172,411,000	172,771,862	171,638,187	1,133,675	△ 772,813	
	1	給食費	172,411,000	172,771,862	171,638,187	1,133,675	△ 772,813	(収入済額)
		1 給食費	172,410,000	171,757,562	171,126,793	630,769	△ 1,283,207	穂高東中学校 31,640,820 穂高西中学校 33,978,120 穂高南小学校 34,454,590 穂高北小学校 42,925,505 穂高西小学校 26,521,288 給食センター 1,606,470
		2 滞納分	1,000	1,014,300	511,394	502,906	510,394	滞納繰越分
2	雑収入		1,000	256	256	0	△ 744	
	1	雑収入	1,000	256	256	0	△ 744	預金利子
3	繰越金		1,000	640,699	640,699	0	639,699	
	1	繰越金	1,000	640,699	640,699	0	639,699	前年度繰越金
歳入合計			172,413,000	173,412,817	172,279,142	1,133,675	△ 133,858	

2 歳 出

(単位：円)

科 目			予算額	支出済額	不用額	備 考
款	項	目				
1	事業費		172,413,000	171,594,561	818,439	
	1	主食費	53,967,000	49,241,057	4,725,943	
		1 米飯等購入費	12,255,000	12,787,280	△ 532,280	
		2 パン製品購入費	4,731,000	4,089,092	641,908	
		3 麺購入費	4,774,000	2,702,365	2,071,635	
		4 牛乳購入費	32,207,000	29,662,320	2,544,680	
	2	副食費	113,842,000	116,647,426	△ 2,805,426	
		1 副食材料購入費				
	3	還付金	4,604,000	5,706,078	△ 1,102,078	
		1 還付金				
歳 出 合 計			172,413,000	171,594,561	818,439	

平成28年度 安曇野市堀金学校給食センター給食費会計歳入歳出決算書

歳入決算額 59,408,913 円
 歳出決算額 59,311,978 円
 差引残額 96,935 円

1 歳 入

(単位：円)

科 目			予算額	調定額	収入済額	収入未済額	予算との比較	備 考
款	項	目						
1	給食費		59,257,000	59,105,559	58,748,983	356,576	△ 508,017	
	1	給食費	59,257,000	59,105,559	58,748,983	356,576	△ 508,017	(収入済額)
		1 給食費	59,256,000	58,808,607	58,675,183	133,424	△ 580,817	堀金小学校 34,327,699 堀金中学校 23,442,594 給食センター 904,890
		2 滞納分	1,000	296,952	73,800	223,152	72,800	滞納繰越分
2	雑収入		1,000	90	90	0	△ 910	
	1	雑収入 1 雑収入	1,000	90	90	0	△ 910	預金利子
3	繰越金		1,000	659,840	659,840	0	658,840	
	1	繰越金 1 繰越金	1,000	659,840	659,840	0	658,840	前年度繰越金
歳 入 合 計			59,259,000	59,765,489	59,408,913	356,576	149,913	

2 歳 出

(単位：円)

科 目			予算額	支出済額	不用額	備 考
款	項	目				
1	事業費		59,259,000	59,311,978	△ 52,978	
	1	主食費	17,586,000	16,272,798	1,313,202	
		1 米飯等購入費	3,562,000	3,746,900	△ 184,900	
		2 パン製品購入費	1,781,000	1,362,662	418,338	
		3 麺購入費	1,365,000	991,152	373,848	
		4 牛乳購入費	10,878,000	10,172,084	705,916	
	2	副食費 1 副食材料購入費	40,623,000	41,454,538	△ 831,538	
	3	還付金 1 還付金	1,050,000	1,584,642	△ 534,642	
歳 出 合 計			59,259,000	59,311,978	△ 52,978	

平成28年度 安曇野市中部学校給食センター給食費会計歳入歳出決算書

歳入決算額 142,991,503 円
 歳出決算額 142,237,570 円
 差引残額 753,933 円

1 歳入

(単位:円)

科 目			予算額	調定額	収入済額	収入未済額	予算との比較	備 考
款	項	目						
1	給食費		142,123,000	143,312,490	141,610,383	1,702,107	△ 512,617	
	1	給食費	142,123,000	143,312,490	141,610,383	1,702,107	△ 512,617	
		1 給食費	142,122,000	141,793,278	141,425,042	368,236	△ 696,958	(収入済額) 豊科北小学校 31,710,696 豊科東小学校 12,482,580 明南小学校 16,465,120 明北小学校 7,235,800 豊科南中学校 24,914,340 豊科北中学校 31,259,166 明科中学校 15,728,790 給食センター 1,628,550
		2 滞納分	1,000	1,519,212	185,341	1,333,871	184,341	滞納繰越分
2	雑収入		1,000	223	223	0	△ 777	
	1 雑収入	1 雑収入	1,000	223	223	0	△ 777	預金利子
3	繰越金		1,000	1,380,897	1,380,897	0	1,379,897	
	1 繰越金	1 繰越金	1,000	1,380,897	1,380,897	0	1,379,897	前年度繰越金
歳入合計			142,125,000	144,693,610	142,991,503	1,702,107	866,503	

2 歳 出

(単位：円)

科 目			予算額	支出済額	不用額	備 考
款	項	目				
1	事業費		142,125,000	142,237,570	△ 112,570	
	1	主食費	42,001,000	38,937,397	3,063,603	
		1 米飯等購入費	9,486,000	8,200,962	1,285,038	
		2 パン製品購入費	4,373,000	4,266,510	106,490	
		3 麺購入費	2,783,000	2,631,132	151,868	
		4 牛乳購入費	25,359,000	23,838,793	1,520,207	
	2	副食費	96,572,000	98,746,069	△ 2,174,069	
		1 副食材料購入費				
	3	還付金	3,552,000	4,554,104	△ 1,002,104	
		1 還付金				
歳 出 合 計			142,125,000	142,237,570	△ 112,570	

平成28年度 安曇野市南部学校給食センター給食費会計歳入歳出決算書

歳入決算額 140,185,731 円
 歳出決算額 139,655,138 円
 差引残額 530,593 円

1 歳入

(単位:円)

科 目			予算額	調定額	収入済額	収入未済額	予算との比較	備 考	
款	項	目							
1	給食費		139,381,000	140,867,999	139,786,081	1,081,918	405,081		
	1	給食費	139,381,000	140,867,999	139,786,081	1,081,918	405,081		
		1	給食費	139,380,000	139,705,911	139,508,425	197,486		128,425
		2	滞納分	1,000	1,162,088	277,656	884,432		276,656
2	雑収入		1,000	192	192	0	△ 808	預金利子	
	1	雑収入	1,000	192	192	0	△ 808		
3	繰越金		1,000	399,458	399,458	0	398,458	前年度繰越金	
	1	繰越金	1,000	399,458	399,458	0	398,458		
歳入合計			139,383,000	141,267,649	140,185,731	1,081,918	802,731		

2 歳 出

(単位：円)

科 目			予算額	支出済額	不用額	備 考
款	項	目				
1	事業費		139,383,000	139,655,138	△ 272,138	
	1	主食費	43,060,000	39,522,353	3,537,647	
		1 米飯等購入費	9,343,000	7,982,604	1,360,396	
		2 パン製品購入費	3,745,000	4,032,476	△ 287,476	
		3 麺購入費	3,582,000	3,126,178	455,822	
		4 牛乳購入費	26,390,000	24,381,095	2,008,905	
	2	副食費	92,323,000	95,686,648	△ 3,363,648	
		1 副食材料購入費				
	3	還付金	4,000,000	4,446,137	△ 446,137	
		1 還付金				
歳 出 合 計			139,383,000	139,655,138	△ 272,138	

監査報告書

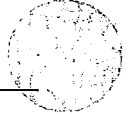
安曇野市学校給食センター運営委員会委員長 殿

平成29年6月30日

税理士法人 大沼田経営会計事務所

代表社員 大沼田 正樹

担当職員 荒崎 茂



私は、平成28年度の会計期間の監査をいたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は、管理者及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、管理者及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び資金の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該会計期間に係る会計報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る財務諸表（歳入歳出決算書）について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 会計報告等の監査結果

- 一 会計報告は、法令に従い、各給食センターの状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 管理者及び使用人等の職務の執行に関する不正の行為又は法令に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表の監査結果


財務諸表は、各給食センターの資金及び決算書の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

(3) その他の監査結果


学校行事及び給食実施日を確認し適正に支出されたものと認めます。

監査結果報告書

平成29年6月30日

監査委員 丸山 玄樹 

監査委員 小島 照美 

監査委員 長島 美樹 

平成29年6月30日、中部学校給食センター会議室において、平成28年度安曇野市学校給食費会計決算について各センター別に監査を実施したので、下記のとおり報告します。

	北部センター	堀金センター	中部センター	南部センター	計
歳入決算額	172,279,142円	59,408,913円	142,991,503円	140,185,731円	514,865,289円
歳出決算額	171,594,561円	59,311,978円	142,237,570円	139,655,138円	512,799,247円
差引残額	684,581円	96,935円	753,933円	530,593円	2,066,042円

上記歳入歳出決算について、諸帳簿を検査したところ正確に処理されており、収入支出とも適正であり、かつ誤りのないことを認めます。

報告第4号	教育部 各課
平成29年7月24日提出	

タイトル	後援依頼の教育長専決分の報告について
報告を要する事項の内容	教育長専決に伴う報告
要旨	学校教育課 3件 生涯学習課 10件 文化課 9件 (詳細別紙)
<p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】 (定義)</p> <p>第2条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第3条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第4条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第1項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事(団体又は行事が、前条第2項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。)</p>	

学校教育課 共催・後援台帳(平成29年度7月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H28	H27	H26	所管課 意見
1	H29.6.29	学校教育	第5回 体感講演会 ～ゆっくり学びたい 子どもたちのために～	結家サブ トクラブ 大橋 さやか	結家サブ トクラブ	後援	発達障害をも つ子ども達の 保護者ばかり ろん、県内の教 育、福祉・行政 関係の方々へ も広く告知し、 支援の輪を広 げていきたい。	6月29日	平成29年10 月1日	専決	過去 承認	○	6月30日	豊科交流 学習セン ターきぼう	発達障害の特性、必要な 支援などを広く理解して いる子どもたちが、将 来、地域で当たり前に生 活していけるよう啓蒙活 動の一環として毎年開催 している。	発達障がい特性、実際に 療育施設に通っている子ど もたちの生の声、本当に必 要な支援などを、県認可の 障がい児通所支援施設ケ アガール先生が子ども達と 日々過ごしてきた実体験を もとに分かりやすく伝える。 実際にやっていると、発達障 がいの世界とは？が少し体感で きるプログラムなど。 入場料1人500円。	○	○	○	基準第4 案第2号 により可
2	H29.6.21	学校教育	「わたしたちの街の 社会員学 安曇野・ 大北版 2018年度 版」冊子作成・寄贈	アド・コマー シャル 株式会社 代表取締役 赤羽 悠一	アド・コマー シャル株式会 社	後援	子ども達に、地 域の産業に興 味を持たせ、 「教材として役 立つ」冊子を地 域ごとを全小 学4・5年生に寄 贈したため。	6月21日	2018年2月 発行予定 (H30年度教 材として)	専決	過去 承認	○	7月14日	安曇野市 内の全小 学校	安曇野・大北地域の任意企 業・団体等の仕事内容や、 その業界自体の活動内容を をわかりやすくイラスト図解 などで解説した	○	-	○	基準第4 案第2号 により可	
3	H29.7.14	学校教育	安曇野の子どもを語 る会	安曇野市教 育 丸山 福一	安曇野市教育 会	後援	安曇野市の子 ども達の健全 育成をめざし、 さまざまな立 場で情報・意見交 換を促し、連携を 取り合っていく ため	7月14日	平成29年 10月14日 (土)	専決	過去 承認	○	7月14日	南安曇教 育文化会 館	「青少年の健全育成をは かっているために、学校・ 各団体・諸機関が連携を 取りながら、学校・家庭・ 地域の教育力をどう高め ていったらよいか」につい て考え合う機会とする。	・討論のテーマ 「地域ならではの活動と学 校教育」 ～安曇野の地域を生かして 子どもをどう育てるか～ ・参加範囲 市内小中高学校職員、教育 PTA、子ども育成会、教育 委員会、幼稚園、保育園職 員、各地区実践者 ・参加予定者数 約120名	○	○	○	基準第4 案第2号 により可

教育部 生涯学習課 共催・後援台帳(平成29年度7月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H26	H27	H28	所管課意見
19	H29.6.12	スポーツ推進担当	第12回三郷ゆりの木杯	三郷家庭婦人バレーボール連盟 会長 澤 孝子 会長 深 子	三郷家庭婦人バレーボール連盟	後援	バレーボールを通じて健康体力づくりと地域社会の健全な発展に寄与する大会です。ご理解いただき、後援をお願いいたします。	6月5日	平成29年7月9日(日)	○	過去承認	○	6月14日	三郷中学校 三郷講堂	バレーボールを通じ、市内に在住及び勤務している女性の交流を図る。	9人制バレーボール大会(変則リーグ戦方式)、9チーム100人程度参加見込み 参加料:1チーム2,000円				基準第4条第2号により可
20	H29.6.12	スポーツ推進担当	第2回中学硬式野球安曇野大会「あづみ野テレビカップ」	あづみ野テレビ株式会社(運営者:安曇野南リトルシニア) 代表取締役社長 伊藤 勝	あづみ野テレビ株式会社(運営者:安曇野南リトルシニア)	後援	市内の中学硬式野球チームは、スポーツ少年団としても積極的な活動を行っている。社会教育としての役割も担っているなど、地域における活動が大であり、本事業は安曇野市における硬式野球の振興と中学生の健全育成につながるものであるため。	6月12日	平成29年7月29日(土)～30日(日)	○	過去承認	○	6月14日	文化三郷公園グラウンド、有明運動場、豊科運動場、東民広場、松本市市民公園多目的グラウンド、松川西野球場	野球の基本技術を学び、健全な心身の鍛錬、仲間との協調、感謝する心を育む取組を行っている。中学硬式野球の活動を、広く地域に周知し活性化を図るため、大会を開催するとともに試合の様相を、あづみ野テレビで放映する。	競技方法:1日目は予選リーグ戦、2日目は決勝大会(予選1位チームによる決勝戦)および交流大会(予選2位以下のチームによる交流試合)を行う。 参加料:1チーム20,000円				基準第4条第2号により可
21	H29.6.12	スポーツ推進担当	第18回子供相撲大会	穂高神社	穂高神社	後援	育成会の協力を得るため。	6月8日	平成29年9月9日(土)午後1時開演	○	過去承認	○	6月14日	穂高神社 南神苑	毎年9月10日前の土日に子供相撲が斎行され、平成12年より子供相撲を実施しております。土曜日の午前中に国技である相撲を通じ、楽しみながら、地域の子供達の連帯感と融和を高め、子供の健やかな成長をお祈りする事が目的です。	参加対象者:等々力区、等々力区、穂高町の小学校1年生～6年生の男子・女子 参加人数:各学年20名程度 参加料:無料				基準第4条第2号により可

教育部 生涯学習課 共催・後援台帳(平成29年度7月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H28	H27	H26	所管課意見
22	1428.6.12	社会教育担当	安曇野環境フェア2017	安曇野環境フェア2017実行委員会 実行委員長 横田 耕太郎	安曇野市、安曇野環境フェア2017実行委員会	後援	環境フェア開催により、環境に関わる様々な情報・現状を市民に伝え、環境関連の施策を進めていく上で、市民・事業者・行政のネットワークを構築する機会を提供するとともに、市民全体が環境について学び、具体的な行動につなげるための契機とするため	6月12日	平成29年10月7日(土)～8日(日)	○	過去承認	○	6月16日	安曇野市総合体育館	・環境に関する課題を市民が共有できる場を提供する ・出展者と来場者の交流を深め、フェアにこれまでに参加していないかっ た人を巻き込む ・参加者同士がお互いの顔を見えるようにし、つながりの環を広げる	ブース展示、緑のカーテン写真展、水で遊べるおもちゃづくり、触れる地球展示、人形劇、キヤラリートーク、ワークショップ、環境活動発表会など	○	○	○	基準第4条第2号により可
23	1428.6.16	スポーツ推進担当	ハレーボール祭りin安曇野 第2回シェイディング・STINGS ハレーボール教室	安曇野ハレーボール交流会 実行委員長 増生 金子	安曇野ハレーボール交流会 実行委員会	後援	ハレーボール技術の向上を目的とし、より多くの子ども達に参加して頂きたい為。	6月13日	平成29年7月22日(土)	○	過去承認	○	6月23日	穂高総合体育館、小倉小学校体育館、豊科南小学校体育館	Vプレミアリーグに所属する国内トップ選手により、安曇野市及び近隣市町村の小中学生・高校生、高校生・一般のハレーボール愛好者及び指導者に、競技力の向上と幅広い世代での普及を図ることを目的に開催する。	Vプレミアリーグで活躍するシェイディング・STINGSの選手によるハレーボール教室。 参加料:教室1人500円、講演会及び講習会1人500円	○	-	-	基準第4条第2号により可
24	1428.6.26	スポーツ推進担当	第4回ニッタク杯安曇野オープン卓球大会(団体)	安曇野卓球連盟 会長 村 義夫	安曇野卓球連盟	後援	社会教育の一環として必要。	6月20日	平成29年7月23日(日)	○	過去承認	○	7月3日	穂高総合体育館	団体戦を通じ、チーム及び他団体との親睦・融和を図ると共に、卓球技術の向上を目指す。	競技種目:ジュニアの部(ジュニア男子・ジュニア女子)、一般の部(一般男子・一般女子) 競技方法:4シングル、1ダブルスの団体戦とし、すべて3点先取とする。 参加料:1チーム4,000円	○	○	○	基準第4条第2号により可

教育部生涯学習課 共催・後援台帳(平成29年度7月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H26	H27	H28	所管課意見
25	H26.7.3	スポーツ推進担当	第12回安曇野市空手道選手権大会	松涛会空手道連盟 安田 良 親	松涛会空手道連盟	後援	市民を中心とした大会であり、本大会の信頼性のため。	7月3日	平成29年10月22日(日)	○	過去承認	○	7月5日	豊科南社会体育館	空手の大会を通してお互いの交流を深め、さらには技術力の向上を目的としている。	競技種目:個人戦男女別(幼児の部、小学生1・2年の部、小学生3・4年の部、小学生5・6年の部、中学生の部、成人の部)、親子団体形、中学団体形、中学男子団体組手 競技方法:トーナメント方式 参加料:1人2,000円	○	○	○	基準第4条第2号により可
26	H26.7.3	スポーツ推進担当	グラスルーツフェスティバル2017in松本	一般社団法人長野県サッカー協会 会長 平正光 林 正光	一般社団法人長野県サッカー協会	後援	対象となる小学生ならびに保護者の皆様に事業を幅広くご理解いただき、安心してご参加いただく為、ご後援をお願い申し上げます。	7月3日	平成29年8月6日(日)	○	過去承認	○	7月5日	松本平広城公園芝生グラウンド	スポーツ(サッカー)を通して、身体を動かして遊ぶことの楽しさと、上達を体感するプログラム。	小学校1・2年生のサッカー経験を問わない、誰もが参加できるフェスティバル。 参加料:無料	○	○	○	基準第4条第2号により可
27	H26.7.3	スポーツ推進担当	第27回 SHINSHU BRAVE WARRIORS 安曇野ミニバスサマーキャンプ 2017	安曇野をバスケットする会 日井 良 臣	安曇野をバスケットする会	後援	安曇野市内の小中学生を対象としたミニバスケットキャンプのため。	7月3日	平成29年8月10日(木)から12日(土)までの2泊3日	○	過去承認	○	7月5日	練習:穂高総合体育館 宿泊:啼鳥山荘	信州プレイブウオリアーのコーチャーズ指導による2泊3日のミニバスケットボールキャンプ(小学生約130名)の実施。	参加料:宿泊参加者12,000円、日帰り参加者5,500円 指導者:信州プレイブウオリアーのコーチャーズ及び選手	○	○	○	基準第4条第2号により可
28	H26.7.3	社会教育担当	第5回あづみ野おなまキッチン	あづみ野おなまキッチン 原田 暢 子	あづみ野おなまキッチン	後援	安曇野市内の公立小中学校や公民館施設でチラシ配布し、あづみ野おなまキッチン開催の広報を行うため	6月27日	平成29年8月19日(土)	○	過去承認	○	7月11日	郷土公民館調理実習棟	主に子どもを対象に食事を作るまい、大人も高齢者も立ち寄りやすいように配慮し、おなまキッチンに安心して遊んだり学習したりできるような「居場所」をつくることを目的とする。	参加費:大人300円、子ども(高校生まで)無料 メニュー:カレー、デザート ※H28.6.14 第1回承認、H28.9.9 第2回承認、H28.12.1 第3回承認、H29.5.26 第4回承認	○	-	-	基準第4条第2号により可

教育部文化課 共催・後援台帳(平成29年度7月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H28	H27	H26	所管課意見
516	H29.6.5	文化	公開講演会「安曇野のナチュラリスト 田淵行男の世界」～私が出会った偉大な博物学者の作品と生涯～	松中・松本深志高等学校 山岳部OB会	西村 清 会長 荒 亮	松中・松本深志 高校山岳部OB 会	後援	教育機関を含め 広く広報を行 い、多くの市民 に聴講いただく ため。	6月2日	平成29年 7月1日 (土)	○	過去承認	承認	6月15日	松本市駅 前会館4 階大会議 室	講師古幡氏は田淵行男先生 の著書「ヒメギフチョウ」に 感銘を受けファンになった。 今回、自らの人生に影響を 与え続けている田淵行男の 作品と人となりについて語 る。	古幡開太郎氏プロフィール: 田淵行男記念館友の会会 長、松中・松本深志高校山 岳部OB、田淵行男のファン になり「尾根踏」高山探険に 惹きつけられ、蝶の採集、山 岳写真、登山と趣味が拡大 する。大学では土壌生物学 を専攻。平成7年4月、田淵 行男記念館が始めた自然観 察教室「むしの会」にボラン ティアとして参加、平成10 年、田淵行男記念館友の会 の発足に加わり、平成18年 から向会会長として田淵行 男記念館を支援している。	○	○	○	基準 第4条 第2号 により 可
517	H29.6.7	文化	第12回川川の自然と文化講演会「語り継ぐ安曇野をめぐる水と暮らし(その3)」	NPO法人川の自然 と文化研究所	吉田利 男 理事長	NPO法人川の自 然と文化研究所	後援	より多くの市民 にご参加いただ くために、周知 希望。	6月7日	平成29年 7月8日 (土)	○	過去承認	承認	6月15日	安曇野種 会館 (穂高公 民館会議 室)	安曇野では古くより麗川流 域の豊かな水がもたらす恩 恵を生かした人々の営みに 特な地域文化が形成されて きました。当研究所は、安曇 野の自然と歴史文化の過去 と現在を知ることから、改め て私たちの暮らしや風土の 将来を考える契機となること を願ひ、開催します。	今回の講演ではお船祭りを 題材にして、松本平の多様 な文化と織り込まれた生活 を、千曲川・麗川水系に分 布する魚類と漁業がDNA建 設や放流などによりどのよう に変化してきたのかをテーマ に講演し、その後安曇野の 自然と歴史文化の現状と課 題についてパネルディスカッ ションを行う。講演1:「お船 祭り」と川と海と一海を繋ぐこ そへ 倉石忠彦氏(国学院大 学名誉教授) 講演2:「変わりゆく千曲川・ 麗川の魚類と漁業」北野隆 氏(長野県環境保全部研究 主任研究員) パネルディスカッション:安曇 野の川の自然と歴史文化の 課題と今後の取り組みに向 けて	○	○	○	基準 第4条 第2号 により 可
518	H29.6.7	文化	ジャパンバンクラジックツアー2017	ヒストリックカーミー ティング実行委員会	長野県長野正 治 事務局長	ヒストリックカー ミーティング実行 委員会	後援	このイベントが 子供たちにとっ て古い物を大切 にする心を学ん だり夢を与えら れる絶好の機会 としたい	6月6日	平成29年 9月16日 (土)～9月 18日(祝・ 月)	○	過去承認	承認	6月15日	滋賀、石 川、富 山、新 潟の5県下 の5県下地 域の観光地 や名所	クラジックカーイベントを通 じてツアー参加者には安曇 野の魅力をPRし、懐かしい 車を展示する中で自動車文 化の歴史や文化継承を通し て地域密着型の双方系コ ミュニケーションを図る。	1980年までに製造されたク ラジックスポーツカーにドライ バー・ナビゲーターが乗車 し、滋賀県彦根市から出発。 3日間かけて指定されたル ートを最終解散地長野県 松本市まで走行する。	○	○	○	基準 第4条 第2号 により 可

教育部 文化課 共催・後援台帳(平成29年度7月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	申請者	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H28	H27	H26	所管課意見
518	H29.6.7	文化	(仮)信濃雅楽会第5回定期演奏会	信濃雅楽会	保尊 勉	信濃雅楽会	より多くの市民にご参加いただくために周知希望。	6月5日	平成29年 11月18日 (土)	○	過去承認	6月15日	安曇野市 穂高交流 学習センター 1階多目的 交流ホール	日本古来の伝統文化である雅楽を多くの方に親しんでいただくため研鑽し、励みその成果を発表する。	信濃雅楽会:大正初期穂高雅楽会として発足。祭典楽や雅楽の習得と普及に努め、平成12年発足50周年を機に「信濃雅楽会」と改名、元宮内庁式部職部楽師先生からの指導のもと記念演奏会を行い県内多くの雅楽愛好家と交流を持っている。 ・演目:管弦・舞楽等を披露。入場料:500円	○	○	○	基準 第4条 第2号 により 可
520	H29.6.12	文化	第2回わくわくキッズコンサート	「ホッと」演奏ホラ ンティア協会	牛山 正博	「ホッと」演奏ホラ ンティア協会	公民館などにチラシを置き、広くコンサートを周知する	6月9日	平成29年 7月14日 (金)	○	過去承認	6月15日	松本市庄 内地区公 民館大会 議室	子連れでコンサートに行かない方や、小さいお子様がいて夜のコンサートに行かない方のために屋間にコンサートを行い音楽に触れていただく。	ヴァイオリン&ピアノデュオ コンサート 入場料:無料	○	○	○	基準 第4条 第2号 により 可
574	H29.6.20	文化	第70回長野県書道展覧会(安曇地区展)	長野県書道協会安 曇支部事務局	支節長千野秀壽	長野県、長野県 教育委員会、長 野県書道協会	長野県県民芸術 祭2017参加事業 のため。	6月15日	平成29年 10月7日 (土)～ 10月9日 (月)	○	過去承認	6月23日	安曇野市 穂高会館 講堂	長野県書道展覧会は昭和23年に創設され、県民より作品を公募し日本古来の書文化の向上と地域社会文化振興に寄与することを目的に実施されている。「安曇地区展」は昭和27年の第5回展より毎年安曇野市穂高で開催されています。	長野市の中央展を皮切りに県内10地区を会場に県内を巡回する審査員作品、一般の上位入賞作品と安曇地区に出品された入賞、入選作品が一室に展覧されます。(小・中・高)と一般部があり、それぞれ厳しい審査難関を突破した力作であります。	-	○	○	基準 第4条 第2号 により 可
581	H29.6.21	文化	日本クラウン吟友会 全国吟詠、剣舞、詩舞大会	日本クラウン吟 友会 信州地区	飯森 壽岳	日本クラウン株 式会社吟友会	市の後援により 大会の内容も充 実してきてい るため。	6月16日	平成29年 11月12日 (日)	○	過去承認	6月26日	安曇野市 明科公民 館	日頃から文武多様な分野で稽古に励み上進した会員の芸道の発表の場として開催。	平成29年2月1日付で承認した第46回日本クラウン全 国吟詠コンクール信州地区 大会での行事の一つとして 開催。吟詠、剣舞、詩舞の芸 道に励む会員が参加。参加 料:一人3,000円。	○	○	○	基準 第4条 第2号 により 可
587	H29.6.21	文化	中南信地区出身の音楽高 校、音楽大学在学による サマーコンサート	株式会社コミュ ニケーション ブラザース	小口 恭弘	株式会社コミュ ニケーション ブラザース	コンサートを広く 市民の方に周知 し、コンサートを 通じて音楽に親 しんでいただく ため。	6月17日	平成29年 8月9日 (水)	○	過去承認	6月26日	松本市音 楽文化 ホール	地元出身の音楽、音楽大生が ピアノや声楽、吹奏楽などを 披露。入場料:500円	-	○	○	○	基準 第4条 第2号 により 可

教育部 文化課 共催・後援台帳(平成29年度7月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H28	H27	H26	所管課意見
568	H29.6.22	文化	第15回 かのすの会詩展	「かのすの会」 柳沢 さつき	「かのすの会」	後援	広く一般に周知するため。	6月14日	平成29年 11月9日 (木)～ 11月12日 (日)	○	過去承認	6月26日	破山公園 研成ホール、第1 研修室	かのすの会は昭和28年に設立され64年目を迎える。平成2年には当会の歴史や作品を記載した「長野県現代詩史」を発行し現代詩の普及に努めている。現年度の研修、普及、会員の親睦のために開催する。	詩展(次のいずれも含む) ・写真美術工芸作品の展示 ・詩の朗読会 ・講演会 ・演奏会 出品料(参加者 6,000円) 同人出品者 無料 入場料無料	-	○	-	基準 第4条 第2号 により 可

平成29年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

学校教育係

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
<p>海外ホームステイ事業</p>	<p>事前説明会 ・この事業に興味をお持ちの保護者、参加生徒を対象とした説明会を開催いたしました。 日時 平成29年7月11日（火） 午後7時から8時 場所 安曇野市役所本庁舎4階 大会議室 内容 参加対象生徒を対象に配布した募集要項の内容を説明し、確認していただきました。 また、質疑事項として、事前学習の内容や選考面接についての質問がありました。 参加人数：希望生徒、保護者合せ62人</p>	<p>・参加応募者が多い場合は、8月18日（金）から20日（日）に本庁舎4階401会議室において面接を実施し選考します。</p>

平成 29 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育担当

社会教育総務費事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
社会教育委員の会 予算額：336 千円	○中信地区理事会 7/6 第1回理事会出席	2/16 中信地区理事会 11/14、2/7、3/22 社会教育委員の会（年4回） 11/16・17 関東甲信越静研究大会
第2次生涯学習推進計画策定 予算額：1,922 千円	○策定委員会 7/12 第3回開催	8/9、9/27、11/9、2/7 策定委員会（全7回予定） 5/23 市民会議（2回以降は未定）
安曇野市人権・平和特別授業～kizuki～ 予算額：3,000 千円	○事業概要 対象：市内小学校10校 4年生 期日：10月3日 場所：豊科公民館ホール 内容：ミュージカル（オズの魔法使い）鑑賞等	10/3 安曇野市人権・平和特別授業 10月～11月 感想文作成

生涯学習推進費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
安曇野検定 予算額：2,984 千円	○広報掲載 7/5「広報あづみの」による告知 ○概要 講座編・・・平成29年度準備講座から出題 ジュニア・・・安曇野市教育会発行冊子から出題（希望校のみ）	7/27、8/3、8/17、8/24、8/31、9/7、9/14、9/21、9/28、10/5 安曇野検定準備講座10回 11月以降 ブラッシュアップ講座 1/28 平成29年度安曇野検定
市民大学講座 予算額：764 千円	○広報掲載（信大編） 7/5「広報あづみの」による告知 ○概要 特別編：7/2開催 来場者：595人（定員：600人） 会場：豊科公民館大ホール 講師：田中陽希さん 信大編：8/1、8/8、8/22、8/29、9/5開催 定員：各回70人 会場：「きぼう」多目的交流ホール 講師：信大より5名派遣	8～9月 市民大学講座信州大学編
日本語教室 予算額：395 千円	○ボランティア講習会 6/27 ボランティア講習会開催 ○豊科、堀金毎週日曜に、穂高、三郷は土曜日に開催（明科休講中）	3月中旬 新規ボランティア説明会
学校開放講座 予算額：300 千円	○南安曇農業高校（5月～：9講座） 明科高校（7月～：5講座） 穂高商業高校（8月～：2講座） 豊科高校（11月～：3講座）、 豊科南中学校（11月～：1講座） 穂高南小学校（10月～：1講座）	5月～市内小中学校、高等学校で実施

人権教育推進事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
教育推進委員会・指導員会 予算額：1,218 千円		2/20 第2回小委員会 2/27 第2回合同会議
人権教育協議会 予算額：582 千円		4月～ 市内5地域において開催
人権尊重作文集-kiseki- 予算額：326 千円	○概要 市内小学校3～6年生、中学校1～3年、各種人権学習会などの概要版などとともに作文集を作成し、関係者へ配付。 5/18 市校長会へ説明	11月～12月 作品募集 2月下旬 発行
安曇野市企業人権教育推進協議会 予算額：52 千円	市内31企業加入 6/22 総会・研修会	11/6 企業人権啓発講演会 2/15 理事会

中央公民館事業費

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
公民館運営審議会 予算額：147千円		11/20 公民館運営審議会第2回 会議 3/20 公民館運営審議会第3回 会議
公民館長会	○第4回公民館長会 7/3 第58回関東甲信越静公民館研究大会群馬大会、 第65回長野県公民館大会について	毎月1回開催
安曇野市総合芸術展 予算額：358千円	○第1回実行委員会 7/3 安曇野市総合芸術展実行委員会規約により、正 副実行委員長選任	11月、2月実行委員会 10月～11月作品選考 3月 総合芸術展
安曇野市公民館報 予算額：1,253千円	7/5 37号発行	年6回発行 9月、11月、12月、2月発行予定

公民館建設事業費

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
堀金公民館講堂及び文書館 等改修工事 予算額：307,760千円		平成29年度工事
豊科公民館駐車場整備 予算額：57,800千円	○豊科公民館駐車場付帯工事 照明(グローブ)工事(6月) 西側フェンス目かくし工事(7月)	7月以降、看板等設置工事等を予 定

平成 29 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育担当（豊科公民館）

豊科公民館事業費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
第 19 回豊科地域コーラス グループ交流発表会 予算額：30 千円	6 月 24 日（土）豊科公民館大ホール 豊科地域で活躍する 7 つのグループが日頃の練習成果 を披露しながら交流を深めた。 ・参加者 300 人	来年度は 20 周年ということで、記 念催事としてゲスト等の招聘等、 反省がされた。
出会い・ふれあい・生きが いセミナー（最終回） 予算額：7 千円	「相撲にかけた青春と大相撲の楽しみ方」の全 3 回の 最終回で、6 月 30 日（金）午前と午後の 2 回、講師の 私設博物館の見学を行った。 ・参加者：午前の部 9 人 午後の部 12 人	
第 12 回豊科さわやか市民 運動会 10 月 22 日（日）	各地区体育部長、豊科地域体育協議会及びその傘下団 体、スポーツ推進委員等が実行委員会を組織し、運動 会開催に向けた協議、取組みを行う。	8 月 3 日（木）第 1 回実行委員会

中央公民館事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
豊科公民館講座「暮らしと ともに歩んできた安曇野の 建物」 予算額：7 千円	7 月 21 日（金）8：00～12：00 安曇野の暮らしを支え、歴史の息づかいを感じる市内の 建物（明科、穂高有明方面）をバスを使って訪ねる全 4 回講座の第 1 回目	7 月 10 日（月）9 時から申込み受 付中。 第 2 回目は、9 月 7 日（木）を予 定

平成 29 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育担当

青少年健全育成費事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
子ども会育成会支援 予算額：11,690 千円	○4月6日～14日 5地域子ども会育成会連絡協議会 ○4月18日 市子ども会育成会連合会総会 ○5月10日 均等割補助金申請、子ども安全共済会申込み締切→97地区申請 ○5月27日 県子ども会育成会連絡協議会第1回理事会及び県子ども会育成会連絡協議会通常総会→新旧会長、事務局計3名参加 ○5月27日 活性化補助金申請締切→42地区申請 ○6月1日 第2回常任委員会 ○6月10日 ジュニアリーダー養成講座に常任委員3名参加協力 ○6月21日 松本地方子ども会育成連絡会 会議	10月、3月 常任委員会 10月、2月 育成会だより発行 11月11日 ジュニアリーダー養成講座協力 2月中旬 子ども会育成会地域連絡協議会
青少年センター 予算額：1,071 千円	○5月12日 第1回運営委員会 ○5月15日 長野県青少年補導センター連絡協議会 ○5月18日 安曇野市小中高等学校生徒指導連絡協議会 第1回総委員会→会長他1名出席 ○6月10日 ジュニアリーダー養成講座に運営委員3名参加協力 ○6月16日 長野県青少年補導センター連絡協議会 ○6月21日 センターだより第8号（広報）発行 ○6月29日 第2回運営委員会 ○4月～5月 相談受付 2件受付 ・いじめ案件1件 ・悩み事案件1件 ○7月1日 青少年委員の委嘱 18名 ○7月14日 第42回長野県青少年補導活動推進大会（飯山市）	11月、3月 運営委員会 8月、12月、3月 街頭巡回 10月 中信4市補導センター連絡会議
ジュニア・リーダー養成事業 予算額：67 千円	○5月26日 第1回申込み締切 ○6月10日 第1回ジュニアリーダー養成講座（レクリエーション講習会）32名参加（内児童26名、協力者6名）参加	11月11日 講習会（三九郎組立）
まごころ工房 予算額：157 千円	○4月 募集チラシ配布 ○5月2日 申込み締切 第1、2、3講座定員20名有 ○5月14日 第1講座【ようこそ！ワッパーク】開催 参加者数：小学生22名 ○6月17日 第2講座【紙飛行機を作って飛ばそう！】開催24名参加（内児童18名、講師6名）	年6回講座開催（参加予定者数） 8月2日 科学おもしろ実験（20名） 8月19日 落語に挑戦（7名） 12月2日 和風作り（17名） 2月24日 料理教室（17名）
こども体験ショー 予算額：540 千円	○4月～7月 イベント内容検討 ○7月 米村でんじろうサイエンスプロダクションとの打合せ	4月～7月 イベント内容検討 8月下旬 出演者との打合せ 10月中旬 環境フェアと同時開催
こども文化祭 予算額：345 千円	○5月～8月 企画・運営方法検討	5月～8月 企画・運営方法検討 9月～10月 出演・出品者の募集 11月25日 文化祭の開催 場所：みらい
安曇野こども映画教室 予算額：965 千円	○4月 小・中17学校、市内4高校 募集チラシ配布 ○4月24日～5月11日 参加者・ボランティア募集 応募者：20名（定員） ボランティア：3名 ○5月20日 第1回 オープンスクール開催 受講者数18名 ○6月24日 第2回 教室開催 受講者数19名	5月20日 毎月1回土曜日教室開催 ～11月25日 11月25日 完成披露上映会

放課後・家庭教育推進費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
放課後子ども総合プラン運営委員会 予算額：235千円		8月下旬 第1回運営委員会の開催 10月中旬 第2回運営委員会の開催
放課後子ども教室 予算額：8,654千円	○4月11日～14日 小学校との打合せ会議 ○4月26日 放課後子ども教室スタッフ研修会 参加者：107人 ○5月17日 豊科東小、穂高北小、三郷小、明北小、4校において開講及び保護者説明会 ○5月18日 明南小において開講及び保護者説明会 ○5月24日 豊科南小、豊科北小、穂高南小、穂高西小、堀金小5校において開講及び保護者説明会 ○7月10日 放課後子ども教室スタッフ救命講習会1部 ○7月11日 放課後子ども教室スタッフ救命講習会2部 ○7月11日 放課後子ども教室スタッフ感染症予防研修会 ○7月12日 豊科南小、豊科東小において連絡会議 ○7月19日 豊科北小において連絡会議	5月17日 放課後子ども教室の実施 ～3月 2月中旬 地域連絡会議の開催
家庭教育支援事業 予算額：271千円	○4月22日 わが子の写真撮り方講座第1回5組12名参加 ○5月14日 わが子の写真撮り方講座第2回5組12名参加 ○6月1日～16日 本庁舎1階ロービーにて写真のパネル展示開催	7、8月 第2回家庭教育講座内容検討

児童館運営費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
児童館・放課後児童クラブ 予算額：185,290千円	○児童クラブ入所随時受付 ○4月1日 穂高西小児童クラブ分室 開所 ○4月 南穂高児童館ブレイルーム照明球替 (修繕費 270,000円) ○5月 穂高北小児童クラブ 網戸設置工事 (修繕費 131,220円) 南穂高児童館 畳張替え修繕 (修繕費 159,840円) 南穂高児童館 クロス張替え修繕 (修繕費 207,296円) ○5月31日 指定管理募集要項の作成及び提出 ○7月12日 指定管理者審査委員会	5月～7月 施設修繕対応 11月 入所説明会、入所申請受付 12・1月 入所審査・調整 2月 入所決定通知書発送 3月 入所説明会

成人式実施事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
成人式 予算額：4,361千円		8月～11月 実行委員会 11月 対象者案内送付 12月 来賓者への案内通知 1月7日 成人式

平成 29 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課スポーツ推進担当

社会体育総務費事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
スポーツ推進委員会 予算額：2,412 千円		9 月 2 日 市の研修会（神奈川県大和市との交流）
スポーツ推進審議会 予算額：182 千円		8 月上旬 委員決定予定 8 月下旬 審議会開催予定
各種競技会及び発表会出場者激励金交付事業 予算額：1,200 千円	<H30 年度実績（支出済のもの）> 6 月末現在 件数：12 件 交付額：188 千円	申請に基づき随時対応
第 2 次安曇野市スポーツ推進計画の策定	6 月 第 3 回庁内 PT（6/21）及び策定委員会（6/27）の開催	7 月 25 日 第 4 回策定委員会の開催

スポーツ振興事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
スポーツ教室等 予算額：9,367 千円	各種スポーツ教室の申込受付及び教室の開催 （46 教室・定員 2,026 人）	
市民スポーツ祭 予算額：1,500 千円	5 月 18 日 第 1 回実行委員会の開催 6 月 25 日 第 8 回市民スポーツ祭総合開会式及びスポーツ交流会等	6 月下旬から 12 月上旬にかけて種目別競技会（17 種目）が開催予定

社会体育施設管理費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
穂高立足マレットゴルフ場松伐採工事		7 月下旬 松伐採工事契約予定
三郷文化公園グラウンドバックネット防護マット設置工事		11 月上旬 設置工事契約予定
公共施設予約システム	7 月 6 日～9・10 月施設予約開始（優先団体分） 7 月 13 日～9・10 月施設予約調整（優先団体分）	7 月 25 日 9・10 月分インターネット施設抽選予約開始 8 月 1 日 9・10 月施設予約開始（窓口）

南部総合公園体育施設建設費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
豊科南部総合公園体育施設建設事業	6 月 21 日 第 2 回新総合体育館建設基本設計者審査検討委員会開催（第一次審査）（参加表明のあった 2 者を第二次審査の技術提案書提出要請者とした）	7 月 31 日 第 3 回新総合体育館建設基本設計者審査検討委員会開催予定（プレゼンテーション、ヒアリング、第二次審査）

平成 29 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

〈文化課〉

文化振興係

芸術教育普及事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
能楽教室	<p>○期日／会場 6月27日(火)／三郷中学校 6月28日(水)／穂高西小学校</p> <p>○演目 土蜘蛛</p> <p>○出演 立命館大学能楽部、小林努氏(高安流能楽師)、青木道喜氏(観世流能楽師)</p> <p>三郷中学校 受講者 生徒546人・一般5人 穂高西小学校 受講者 生徒438人・一般6人</p>	

文化振興計画推進事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
文化振興計画 進捗管理	<p>第3回文化振興計画策定委員会</p> <p>7月6日(木) 午後1時30分～3時30分</p> <p>内容 取り組み方針について (議事録については次回)</p>	<p>8月24日(木)</p> <p>第4回策定委員会</p>

文化イベント補助事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
信州安曇野能楽鑑賞会 主催：信州安曇野薪能実行委員会（教委共催）	<p>第27回信州安曇野能楽鑑賞会</p> <p>期日 8月19日(土) 会場 豊科公民館ホール</p> <p>演目 舞囃子「敦盛」、能「頼政」「船弁慶」、狂言「寝音曲」</p> <p>・第2回実行委員会 6月8日(木)</p>	<p>「子ども能楽教室」 仕舞・連吟の練習</p> <p>・練習日：7/7、8、 21、22、8/6、11、 18</p> <p>第3回実行委員会 8月3日(木)</p>

美術館博物館連携事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
安曇野市美術館博物館連携事業	<p>・安曇野市美術館博物館連携事業 専門部会 5月23日(火) 穂高支所</p> <p>・体験！夏のミュージアムワークショップ大集合 期間：7月15日(土)～9月末日</p>	<p>・ギャラリートーク リレー2017</p> <p>・学校ミュージアム 専門部会 7月26日 (水)</p>

高橋節郎記念美術館教育普及事業

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
第6回そば猪口アート公募展	概要：全国から自作の「そば猪口」を公募し、入選作品を展示する。 募集 6月9日(金)～22日(木) 展覧会 9月5日(火)～10月9日(月) 応募者数/応募点数 210点	安曇野市商工会・安曇野スタイルネットワークとの連携
高橋節郎没後10年企画展	・展覧会名：高橋節郎没後10年—わたしのうるし— 会期 平成29年6月17日(土)～8月20日(日) 開会式 参加者56人 記念コンサート 出演 古川愛(ヴァイオリン) 参加者84人	7月17日(月・祝) 記念講演会 中島洋一氏(元三越本店美術部長、元永青文庫常務理事)
講座「漆パネル講座」	期日 7月1日(土)、2日(日) 講師 東京藝大漆芸研究室 松崎森平、佐野圭亮 募集人員 各10名 1日参加者 9名/2日参加者6名	
講座「漆ペンダントづくり」	期日 7月22日(土)、23日(日) 午前・午後(全4回) 講師 東京藝大漆芸研究室 小田伊織、長島友治 募集人員 各10名 節郎の沈金技法を本物の漆と金を使って体験し、キーホルダーとしても使える、ペンダントづくりをする。 申込者 22日 午前10名、午後10名 23日 午前9名、午後10名	

博物館係

郷土博物館事業

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
企画展	「安曇野 人の一生Ⅱ 結婚式は誰のため？」 ・会期：6月24日(土)～8月20日(日) ・会場：豊科郷土博物館 2階展示室	歴史館巡回展「長野県の遺跡発掘2017」 ・会期：8月26日(土)～9月17日(日) ・10月29日(日)まで協賛展も同時開催。

郷土博物館・新市立博物館準備室出前展示(コンパクト展示)	<p>「拾ヶ堰、安曇野をうるおす」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期:7月3日(月)～7月31日(月) ・会場:市本庁舎1階ロビー 	<p>「縁の瓦里帰り展～開けられた修学旅行のタイムカプセル～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期:8月1日(水)～8月21日(月) ・会場:市本庁舎1階ロビー
	<p>「縁の瓦里帰り展～開けられた修学旅行のタイムカプセル～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期:7月12日(水)～7月25日(火) ・会場:市内7小中学校(豊科南小学校、堀金小学校、明北小学校、明科中学校、穂高東・西中学校、堀金中学校) 	
	<p>「七夕～そのロマンと現実～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期:7月4日(火)～7月31日(月) ・会場:江戸川区立穂高荘 	<p>「盆～先祖を迎える日」展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期:8月1日(火)～8月21日(月) ・会場:江戸川区立穂高荘
	<p>「安曇野の特産物～今昔～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期:7月5日(水)～7月20日(木) ・会場:穂高会館 	
	<p>「盆～先祖を迎える日」展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期:7月11日(火)～7月31日(月) ・会場:三郷公民館 	<p>「秋の七草～千年の時を超えて～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期:8月1日(火)～ ・会場:三郷公民館
講座・学習会等	<p>ワークショップ1「目で口で!江戸時代の婚礼料理を五感で楽しむ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:博物館及び勇屋会館 ・日時:6月27日(火)参加者20人、7月6日(木)参加者27人、7月15日(土)、いずれも午前10時30分～午後1時30分 ・参加費:5,000円 	
	<p>「身近な帰化植物の観察と学習会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:7月8日(土)午前9時～11時30分 ・場所:博物館及びその周辺 ・参加者:11人 参加費:150円 	<p>「七夕まんじゅう作り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:8月5日(土)午前9時30分～11時30分 ・場所:豊科保健センター ・定員:20人 ・参加費:200円

	<p>講演会「結婚して、よかった?～戦後の結婚式の変化と幸せのゆくえ～」(講師/石井研士氏)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:7月15日(土)午後1時30分～3時 ・場所:豊科交流学習センターきぼう ・定員:150人 ・参加費:100円 	<p>ナイトミュージアム「ローソク作りと博物館で肝試し」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:8月10日(木)午後5時30分～7時 ・場所:博物館 ・定員:30人 ・参加費:100円
	<p>ワークショップ2「落ち着きのおじや」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:7月22日(土)、午前9時30分～11時30分 ・場所:豊科保健センター ・定員:20人 ・参加費200円 	<p>「夏休みの昆虫採集と標本作り in 長峰山」(講師/田島尚氏)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:8月11日(金・祝) 午前(昆虫採集)、午後(標本作り) ・場所:長峰山 ・定員:15人
職員派遣その他	<p>信州森フェス実行委員会主催の「第7回信州森フェス!」への講師派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:6月24日(土) ・派遣職員数1人 	<p>教諭等資質向上研修「異業種体験講座」の受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:8月4日(金)、8月5日(土)
	<p>安曇野市里山再生計画の取り組みである「さとぶろ。学校」の講座への講師派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:6月25日(日) ・派遣職員数1人 	<p>初任者研修「安曇野を知る会」への講師派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:8月8日(火)午後1時～1時40分 ・派遣職員数1人
	<p>旧三郷民俗資料館の見学学習及び講師の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:6月23日(金)、6月30日(金)、7月7日(金) ・派遣職員数各1人 	
	<p>豊科北中学校総合学習講師への派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:6月15日(木)、6月22日(木)、6月29日(木)、7月20日(木) ・派遣職員数各2人 	

	<p>三郷公民館主催の平成 29 年度ふるさと講座③で行う美ヶ原高原トレッキング下見への職員派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時: 7 月 10 日 (水) ・派遣職員数 1 人 	
	<p>安曇野市教育会実技講習会への講師派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所: 郷土博物館他市内各所 ・日時: 7 月 27 日 (木) ・派遣職員数 1 人 	
	<p>拾ヶ堰かんがい施設登録記念講演会への講師派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所: 安曇野市堀金総合体育館サブアリーナ ・日時: 7 月 28 日 (金) ・派遣職員数 1 人 	

郷土資料館事業

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み
穂高郷土資料館	<p>北アルプス山麓で発掘された縄文土器や土偶のほか、農具や漁具、養蚕資料など民具を展示(常設展示を見やすくわかりやすい展示に整理し、考古資料等、みどころとなる資料を解説等で強調)。隣接する「鐘の鳴る丘集会所」の関連資料も展示。</p> <p>新規の企画「縄文土器を安曇野の西と東で比べる展示」を郷土博物館・文化財資料センターとの協力で実施。</p>	
穂高鐘の鳴る丘集会所の施設使用	郷土の歴史や文化に係る学習や青少年の健全育成に関する事業を行う市民等の利用に供する。	

貞享義民記念館事業

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み
企画展示	<p>「刀装具展」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期: 7 月 4 日 (火) ~ 7 月 17 日 (日) ・会場: 貞享義民記念館 1 階企画展示室 	<p>「安曇野の観音信仰」写真展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期: 8 月 22 日 (火) ~ 9 月 3 日 (日) ・会場: 貞享義民記念館 1 階企画展示室
	<p>「楡フォトクラブ写真展」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期: 7 月 25 日 (火) ~ 8 月 20 日 (日) ・会場: 貞享義民記念館 1 階企画展示室 	
講座	<p>「貞享義民のリーダー達の足跡をたどろう!」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時: 7 月 15 日 (土)、7 月 16 日 (日)、7 月 29 日 (土)、いずれも午前 10 時 ~ 11 時 30 分と午後 2 時 ~ 3 時 30 分 ・内容: 館内見学のあと、ゆかりの地を紹介 ・定員: 20 人 ・参加費 100 円 	<p>「貞享義民のリーダー達の足跡をたどろう!」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時: 8 月 5 日 (土)、8 月 11 日 (金)、8 月 12 日 (土)、8 月 19 日 (土)、8 月 26 日 (土)

		いずれも午前 10 時～ 11 時 30 分と午後 2 時 ～3 時 30 分
	<p>読んだら面白い!?から学ぶ古文書講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：読んでみると面白い古文書を教材に基礎から学ぶ古文書講座 ・日時：6月3日(土)参加者16人、6月17日(土)参加者19人、7月1日(土)17人、7月22日(土) 	<p>読んだら面白い!?から学ぶ古文書講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：読んでみると面白い古文書を教材に基礎から学ぶ古文書講座 ・日時：9月9日(土)・9月30日(土)、10月14日(土)・10月28日(土)
職員派遣その他		<p>初任者研修「安曇野を知る会」への講師派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所：貞享義民記念館 ・日時：8月8日(火)午後2時30分～3時20分
		<p>安曇野検定準備講座の講師依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所：豊科交流学習センター ・日時：8月24日(木)、8月31日(木)午後7時～午後8時30分 ・派遣職員数1人

公文書開館準備事業

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
安曇野市公文書館業務検討委員会	<p>第2回安曇野市公文書館業務検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：7月3日(月)午後2時～3時15分 ・場所：堀金公民館 ・内容：文書館設置予定施設の見学、文書館の文書等の収集、整理及び保存に関する事項、文書館の閲覧及び複写に関する事項、その他 	<p>第3回安曇野市公文書館業務検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：8月21日(月)午後1時30分～3時 ・場所：市役所本庁舎
職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・日時：7月21日(金) ・場所：長野県立歴史館 ・内容：文書等の収集、整理及び保存等に関する視察研修 	

歴史文書整理事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
歴史文書整理	古文書整理作業（二木家文書整理）	上川手、南穂高文書整理

歴史的価値ある公文書整理事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
歴史的価値ある公文書整理	歴史的価値ある公文書としてのシステム登録 公開・非公開の選別作業	文書管理・検索システム機能追加の検討

地域資料収集・整理事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
地域資料収集・整理	穂高古文書勉強会の運営委員の方々に目録作成のための調査を依頼。	

文化財保護係

文化財保護事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
文化財事業補助金申請事務手続き	補助事業を実施している無形民俗文化財の保存伝承関係、文化財維持管理関係、有形文化財の修理関係等、申請を受付	随時事務処理を行う
重文「曾根原家住宅」 保存修理事業	平成29年7月3日（月）～7月6日（木） 耐震診断のための事前地盤調査	分析と耐震診断
「安曇平のお船祭り」 調査に伴う打合せ会議	平成29年5月30日午後13:30～ 調査委員会委員と調査員との打ち合わせ	調査開始
市指定天然記念物外 樹木医診断	平成29年7月24日（月）9:30～ 潮神明宮社叢の樺外 穂高神社大門のケヤキ 上鳥羽のとげなし栗外	倒木危険防止のための施策
文化財保護へ向けた 啓発活動	広報への文化財コラムの掲載 穂高公民館教養講座（穂高地域の古墳巡り …7/20（木）	

埋蔵文化財発掘調査事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
南松原遺跡試掘調査	平成 29 年 5 月 27 日（火） 農業用ハウス建設に伴う事前調査	工事立会いのうえ、着手
中在地遺跡試掘調査	平成 29 年 6 月 12 日（水） 市道拡幅に伴う事前調査	試掘結果を踏まえ保護協議
穂高古墳群 B-24 号墳試掘調査	平成 29 年 7 月 11 日（火）～ 個人住宅建設に伴う事前調査	試掘結果を踏まえ保護協議
等々力町巾上市下遺跡・潮 遺跡群浦田遺跡出土自然 遺物科学分析	駐車場及び宅地開発（一般開発）に伴う事前調査で 出土した炭化物等の科学分析を専門研究機関へ委 託	調査報告書へ反映
埋蔵文化財包蔵地内等 での開発に対しての保護協 議	開発に先立ち、事前に保護協議を行う	開発業者との連絡調整
埋蔵文化財包蔵地内等 での開発に対しての工事立 会	一般開発・公共事業に伴う工事立会	
文化財保護法 93・94 条関係の事務	周知の埋蔵文化財包蔵地内で開発が行なわれる際 の届出・通知受付事務	随時対応
遺物整理作業	・穂高神社境内遺跡発掘調査（穂高支所建替え）に伴 う遺物整理作業 復元、実測 ・潮神明宮前遺跡発掘調査（明科地域消防詰所建築） に伴う遺物整理作業…遺物洗浄他	報告書作成へ向けた 整理作業

交流学習センター(施設)事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
穂高交流学習センター事業	<ul style="list-style-type: none"> ○第7回あづみの新進音楽家公開オーディション <ul style="list-style-type: none"> ・期日:7月29日(土) ・場所:穂高交流学習センター「みらい」多目的交流ホール 一般の部 3組 ジュニアの部 13組 ○しかけ絵本のせかい展 <ul style="list-style-type: none"> ・期日:7月12日(水)～8月6日(日) ・場所:穂高交流学習センター「みらい」交流ギャラリー 	<ul style="list-style-type: none"> ○アンサンブル藝弦コンサート <ul style="list-style-type: none"> ～安曇野を彩るフルートと弦楽の饗宴～ ・期日:8月26日(土) ・場所:穂高交流学習センター「みらい」多目的交流ホール ○アンサンブル藝弦出前コンサート <ul style="list-style-type: none"> ・期日:8月3日(木) ・場所:明科子どもと大人の交流学習施設「ひまわり」ハーモニーホール、堀金支所1階ロビー ・期日:8月4日(金) ・場所:豊科交流学習センター「きぼう」多目的交流ホール

交流学習センター(建設)事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
三郷交流学習センター建設事業	<ul style="list-style-type: none"> ○三郷交流学習センター現場見学会 <ul style="list-style-type: none"> ・日時:7月29日(土) 10:30～11:30 ・場所:三郷交流学習センター建設現場 ・定員:40人 ・内容:工事概要説明、見学 	

図書館事業

事業(提案事項)	現況	今後の取り組み
図書館事業	<p>○『世代を超えて地域と共に』【教育委員会共催事業】 新・オバハン落語ユニット「三色団子」さんの絵本&落語ライブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：7月8日(土) ・場所：堀金複合施設3階第1会議室 ・入場者：150人 <p>○柳田邦男さん講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：7月9日(日) 13:30~15:00 ・場所：穂高交流学習センター「みらい」多目的交流ホール ・演題：「生きる力、絵本の力~大人も子どもも心が育つ~」 ・入場者：177人 <p>○中信地区図書館長会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：7月19日(水) ・場所：山形村トレーニングセンター ふるさと大ホール ・内容：県図書館協会公共図書館部会各役員について、情報交換、その他 ・出席者：中信地区図書館長16名 <p>○第2次図書館基本計画策定に伴う市民ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：7月22日(土) 14:00~16:00 ・場所：穂高交流学習センター「みらい」多目的交流ホール ・参加者：11人 	<p>○「信州山の日」中信地区公共図書館企画展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月23日「信州山の日」にちなむ山に関連する図書の展示(7月~8月) ・参加図書館：朝日村、安曇野市、生坂村、池田町、大町市、小谷村、麻績村、塩尻市、筑北村、白馬村、松川村、松本市、山形村